



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 12 (2001.5.20発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

クラブ会長・幹事の皆さんへ……………	1
会長エレクト研修セミナー……………	3
2001～2002のための地区協議会開催報告……………	4
地区第9回ライラセミナー……………	5
諮問委員会・地区新世代委員長会議報告……………	6
I.M.報告(西尾張・東三河・東尾張分区)……………	7
環境保全委員長会議報告……………	10
21世紀の扉を拓く……………	11

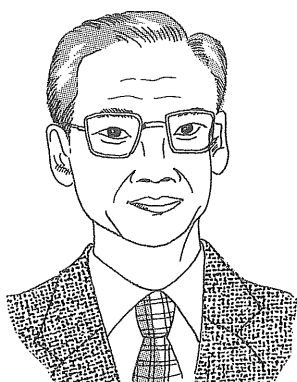
目次

記念式典報告(田原・西春日井各RC)……………	15
// (豊山城北・知立・名古屋名駅・名古屋錦各RC)……………	16
第3弾 座談会「ロータリーを愛すが故に」……………	17
特別寄稿 地球環境における森林の役割……………	21
高沢 隆 パストガバナーを偲んで……………	23
新入会員報告・新ポール・ハリスフェロー・特別寄付報告・文庫通信……………	24
会員数及び出席報告……………	26

春之青如



=天地同根、万物一体= 「共生の思想」と共に！



R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

先月、**次年度のための地区協議会**が太田DGEをリーダーとして開催されました。各クラブにおかれましても会長エレクトを中心に、7月からの方向と行動について熱っぽく語られていることと思います。会長・幹事の皆様は、今一番よくクラブのこと、ロータリーのことを判っているロータリアンです。昨年の同時期のご自身のことを思い出しながら、そして凡そ1年を振り返りながら、予定者に役立つ情報をお伝え下さい。それと残りの日々を、知り合いを広める事に特に注力していただいたら如何でしょうか。

人生の意味は、 生き生きと生き切ること、完全燃焼すること。それには心と身一つにして行動することと云う考え方があります。それは何をするにも自分を無にして対象に溶け込むほどに打ち込む生き方であり、行動重視の生き方です。例えば職場にあっては唯働いているのではなく仕事に打ち込み全身全霊で当たる、自分が仕事か、仕事が自分かという程の取り組みであります。知識、科学が進歩し、工業化が広まり、幸せで心満ちたり、安心な世の中が出現する筈でした。ところが先進国におい

ては、生命を保つには有り余る程の物に囲まれていながら、逆にいつかそれらが無くなるのではないかなど漠然とした不安につきまとわれています。だから今の豊かさがずっと続き更にもって豊かになりたいと望み、その努力を重ねるのですが、それによって心配の種は増えているのではないかという見方も出来ます。「大抵の人は、質素な暮らしを恐れ、その恐怖のためにかえってこうした恐怖を最も多く生み出しそうな行為へと導かれる」と、既に2300年前、ギリシアの唯物論哲学者エピクロスが見通していた通りです。モノ重視、知識偏重が過ぎてこのようになっている、だから新しい世紀は精神を中心に、即ちこころの時代とよく言われます。しかし物だけでも、あるいは心だけでもうまくゆかないと思います。やはり心と身を一体にして行動に打ち込むところに光明が見えてくるように感じられます。

「意識を喚起し進んで行動を」 の本年度R Iテーマにおける「意識」と「行動」も二元論的に捉えるのではなく、このように一体として考える、しかも行動に力点を置く、勿論奉仕の理想を基礎においてであります。知行合一という言葉にも同じような意味が含まれているのではと思います。

以上の事は、 原田湛玄大師の「天地同根万物一体」の講話(西三河分区IM)や黒川紀章氏の「共生の思想」

の講演(東尾張分区IM)に刺激されて、読んだり考えたりしたことであります。また、このような日本の思想は、ロータリーの人生哲学と底流において一致するものであり、しかも、日本はもとより世界中の課題である環境保全にとって貴重な鍵になりうると連想されます。

5月30日がごみゼロの日として良く知られており、6月5日も環境の日として世界的に認められていますので、環境に関する強調週間なり月間なりにするのがふさわしいのですが、今頃は年度の終了が近づいており、対外的プログラムはちょっと組みにくい時期かもしれません。**環境問題は不思議です**。多分、殆どの人が個人的に訊かれれば、このままではそんなに遠くない先に破局が訪れると答えると思います。にも拘らず、内外において政治課題の第一に位置付けられていません。多くの世界的なリーダー企業が持続的な人類の生存環境について真剣に取り組んでいる風にも思われません。たしかに、環境保全第一に考えて世界経済が破綻したらそれも恐ろしい。それにどうするのが一番よいのか、答えが見つけないところにも原因があるのかもしれない。

CO₂と温暖化でさえ、

どれだけの相関関係があるのかははっきりしている訳ではありません。紙やプラスチック類のリサイクルが、真に化石資源の節約になっているのか、回収のことなど考えたらかえって余分に使うのではないのか。太陽光発電や風力発電でも同様のことを説く人もいます。CO₂を排出しない原子力発電についてさえ同じ考え方で、建設や後処理などトータルで見たら化石燃料の無駄遣い、と聞いたことが有ります。更に、人間はチェルノブイリのようなことをもう起こさないと云えるだろうか、無事故でいけたとしても1000年も廃棄物の墓守りができるのだろうか。こうした環境効率性の問題がともすれば経済的な利潤追求のレベルだけで論じられると、答えは尚更遠のいてしまいます。この点、環境庁が発信した「環境合理性」との表現、概念は優れた

ものと思われます。

農業と環境についても、大きな問題を抱えております。アメリカは世界に冠たる農業国であります。これは第二次世界大戦を機に、科学と技術が駆使され、即ち機械化、ハイブリッド種子、化学肥料、農薬が取り入れられ、飛躍的に生産力が上がった結果であります。ところが化学製品の使用でとんでもない事が起こってきたのです。農民と家畜の健康が害され、土壌は侵食され、井戸水も汚染され、その上害虫を駆除する天敵が滅亡し抵抗力の強くなった害虫が増加してきたのです。消費者の側にも農薬が使用された作物を摂取したことでアレルギー反応

や疾患を引き起こすケースが出てきて、更に化学物質の与える被害は人間にとどまらず地球に生存する全ての生命に対して脅威になってきていると警告されるようになりました。愛知万博は自然の叡智を問うていますが、あらゆる生命が一体となって互いに助け合っただけでなく、ゆくところに持続的な循環の流れが見つけられそうであります。

環境危機について

はまだこの他、大気汚染、オゾン層の破壊、世界の森林の減少、水不足、電磁波の害、遺伝子組み替

え食品の不安、シックハウス等思わぬ多くの深刻な事態に突き当たっていますが、急に全面的な破滅につながる性質のものでないだけに先送りされがちなのでしょう。

ロータリーは職業を大切にして、なお人々の幸せを考え行動しています。2000-2001年度は完結しようとしていますが、新世代の育成、教育の問題と並んで環境問題は、どれだけ重視してもし過ぎることのない重要テーマとして引き継がれてゆくことと思います。ロータリーが率先してやらなければ誰がやるのか、ぐらゐの意気込みで地域や世界のために、たとえ微力といわれようとも尽くそうではありませんか。

意識を喚起し一進んで行動を

太田丸始動



米国アナハイムで恒例ではあるがハードな国際協議会での研修を終えられ、いよいよ太田年度の始動です。

去る3月21日の「会長エレクト研修セミナー」そして4月14日の「地区協議会」更に各種予定者会議と矢継ぎ早にスケジュールをこなされ、いよいよあと一ヶ月余で21世紀の2年目が始まります。

次年度は「人類がわたしたちの仕事です」の国際ロータリーの目標に基づき

- ① 会員増強、退会防止、拡大に全力を尽くそう
- ② 環境保全のために行動を
- ③ 高速情報通信社会の到来とその対応
- ④ ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付で貢献を
- ⑤ 新世代の育成を——

の5つのテーマを地区目標としている。

会長エレクト研修セミナー「プログラム」

日時 2001年3月21日(水) 10:00~16:30

場所 名鉄岡崎ホテル

10:00~10:30 登 録

10:30~ 点 鐘

開 会

司会

ガバナー 福田 清成

次期副幹事 近藤 康治

国家「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

開会の言葉

特別出席者紹介

ガバナー挨拶

セミナーテーマ「新年度に向けて」

ガバナーエレクト 太田賢太郎

「会長のリーダーシップについて」

次期研修リーダー 松本 宏

報告事項

1. 次期地区予算案について 次期地区会計長 杉浦 恵造
2. クラブ計画書の作成について 次期地区幹事 藤井 克己
3. クラブ定例報告書及び資料の提出について

4. 公式訪問について

次期副幹事 中根 幹雄

5. 地区協議会・地区大会について

岩附 辰治

6. RI会長賞について

加藤 信吾

7. ガバナー月信について

中野 敏雄

8. GSEについて

蜂須賀利雄

次年度地区GSE委員会

12:30~13:30 昼食と懇談

13:30~15:00 研 修

1. 「最重要課題は会員増強」

会員増強ゾーンコーディネーター 亀岡 弘

2. 「ロータリー財団と人道的補助金プログラムについて」

ロータリー財団委員長 石川 敬

3. 「クラブ運営とインターネット」 DICO 浅野 彰

15:00~15:10 休憩・移動

15:10~16:00 分区グループ懇談会 (補佐訪問、会長幹事会、IM、クラブ計画、その他)

16:10~ ガバナー講評

ガバナー 福田 清成

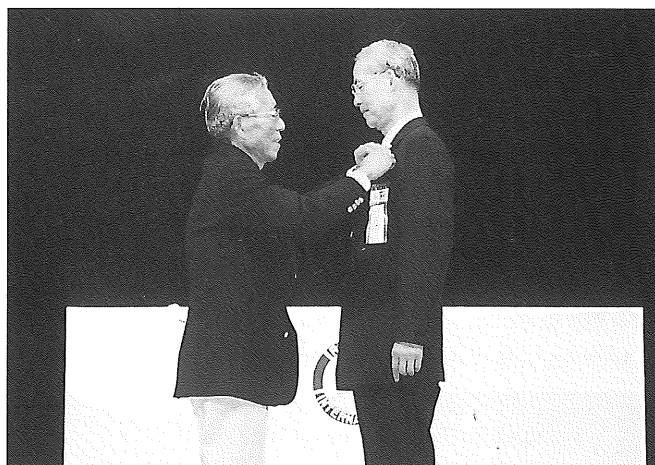
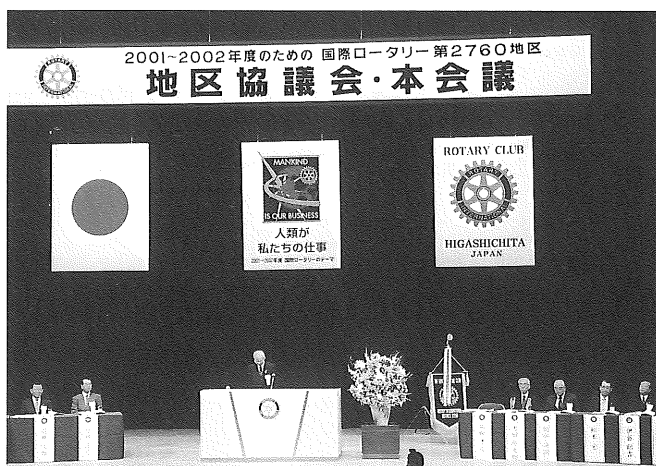
閉会の言葉

次期地区監事 伊藤 公正

16:30 点 鐘

ガバナー 福田 清成





地区協議会、ホストクラブを終わって

東知多ロータリークラブ 会長 竹田 正巳

国際ロータリー第2760地区、2001~2002年度のための地区協議会が、葉桜の季節を迎えた4月14日(土)、名古屋国際会議場において開催されました。

私ども東知多ロータリークラブが、ホストクラブを拝命して以来、早速当クラブとしては、最強の陣容による実行委員会を組織し、フル回転の活動、行動で一年間にわたる準備を進めてまいりました。

幸いにも福田清成ガバナー、太田賢太郎ガバナーエレクトを始め地区役員の皆様のご指導をえ、無事に当日を迎えることが出来ました。誠にありがとうございました。

当日の参加者は、特別出席者、地区役員、出席義務者、一般会員の総出席者は、地区内全78クラブより1600名近くになりました。プログラムに従い、10時30分より午前の本会議が始まりました。＜君が代＞、＜奉仕の理想＞の斉唱、実行委員長の開会の言葉、ホストクラブ会長の歓迎の挨拶、福田ガバナーの挨拶、そして太田ガバナーエレクトより、次年度、R.I会長、リチャード.D.キングのテーマ＜MANKIND, IS, OUR, BUSINESS＞＜人類が私達の

仕事＞について紹介があり、自らの地区運営方針についても詳しく説かれました。

午後は9分科会にわかれ、それぞれのテーマに沿った討議がなされ、本会議に移りガバナーより講評がありました。次いでガバナー、地区幹事の引継ぎ、次期ホストクラブとして名古屋瑞穂ロータリークラブの発表等、午後4時、全ての行事を終わり閉会となりました。

さて、この地区協議会は、7月から始まる次年度のクラブ運営が順調な滑り出しが出来るよう、毎年開かれるものでございます。私どもとしてはその点に焦点を合せて、ホストクラブ活動をさせていただきました。今日の地区協議会の成果が、次年度に向けて各クラブの運営や、活動の糧となり皆様方のクラブにとりまして恵みとなりますことを念願し、ご祈念申し上げます。

最後になりましたが、地区協議会のホストクラブを務めるに当たって、この一年間、各方面から寄せられました好意と友情、応援のエールに感謝申し上げて、御礼のことはといたします。



2001~2002年度ガバナー補佐ご紹介

林 隆二

昭和5年2月10日生

西名古屋
分区担当



名古屋南RC
リンタツ(株) 代表取締役
1991.2 名古屋南ロータリークラブ入会
1991~92 会員増強委員長
1992~93 副会長
1994~95 会長
1996~97 ロータリー情報委員長
1998~99 会員選考委員長
2000~01 ロータリー財団委員長
ポールハリスフェロー
ベネファクター

第9回 青少年指導者養成セミナー

◎メインテーマ「21世紀は新世代のあなたが主役」

○サブテーマ「みんなで考え、行動を起こそう」

地区ライラ委員長 加藤 鈴 幸



開講式 福田清成ガバナー挨拶

第9回ライラセミナーは、2001年3月17日～18日の2日間に亘り、豊田市に隣接する藤岡町にある「全トヨタ労連研修センターつどいの丘」にて福田清成RI第2760地区ガバナーをはじめ、特別出席者30名、ロータリアン197名、受講生152名の参加により開催された。本年度は新しい21世紀の始まりの年です。これからの社会に起り得る諸問題を新世代の方々がしっかりと認識し考え行動を起すリーダーとなって頂きたい今回のセミナーのメインテーマ、サブテーマを決定しました。ライラセミナーも各分区を一巡りし第1回目と同じ西三河中分区内の豊田西RCが担当することになった。新鮮さを出すべく基調講演をパネルディスカッションに変更した。コーディネーターに堀内守名古屋大学名誉教授を迎え、各地地域社会で重要問題として取り上げている教育、福祉、環境、指導力、治安について夫々専門家5人をパネラーとした。壇上と会場が一体となり、白熱した討論が行われた。分科会もこのパネルディスカッ



分科会別討論結果発表

ションにて討論された問題を更に掘り下げて、10分科会に分け受講生の方々に活潑な意見、提言をしてもらった。2日間で3部にして時間を取り、2日目に分科会別に代表者達が壇上で、黒板やパネルを使い討論発表があった。又第1日目の交流会では夕食をとりながら受講生同志及び受講生とロータリアンが語り合い交流、親睦を深めた。又郷土芸能の棒の手、陣中太鼓の実演に歓談、食事も中断し壇上の演技に酔いしれた。又地区ライラ委員会によって、ライラセミナー受講修了者の友の会が結成され今後の活動に期待がもたれる。又感想文の優秀作品の表彰も同委員会によって行われた。最後に反省点も多く又不行届きな点も多々ありましたが、豊田西RCのロータリアン全員が総力を上げて準備しホストをして頂きました。ロータリアンの皆様の友情を持ってお許し願いたい。以上を持ちまして第9回のライラセミナーの報告とさせていただきます。



交流委員会



閉校式 藤井 忠ガバナー補佐による修了証授与



分科会討論風景

2000～2001年度 国際ロータリー第2760地区

日時 2001年3月30日(金)11:00～

第5回諮問委員会

場所 名鉄グランドホテル

出席者 奥谷PDG 福田PDG 田中PDG 盛田PDG
加納PDG 神戸PDG 宮地PDG 蜂谷PDG
石川PDG 松本PDG 野村PDG 福田DG
太田DGE

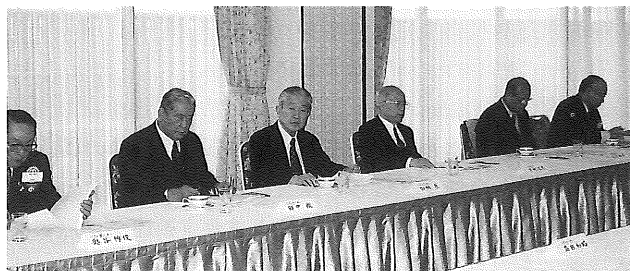
(オブザーバー 伊藤地区幹事、倉知地区副幹事、藤井次期地区幹事)

欠席者 森PDG 内藤PDG

福田ガバナー挨拶

突然ですが今朝、高沢隆PDGが逝去されたという悲報を伺いました。長年に亘るロータリーへのご貢献を思い、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

先日のPETSを皮切りに次年度が本格的にスタートしております。本年度のIMも皆様のご協力により8分区全て無事終了いたしました。各地区ともガバナー補佐のリーダーシップのもと有意義な内容でした。5月にはGSEプログラムとしてスウェーデン・ウメオー(2320地区)地区



大会に参加してまいります。

協議事項

1. ロータリーの友顧問選出について

報告事項

以下の議題全部につき配付資料のとおり報告された。

1. 2001年度 国際協議会出席報告
2. 第9回ライラセミナー開催について
3. 米山奨学生選考結果について
4. 春日井ロータリークラブ提唱
春日丘高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式
2001年4月28日(土) 15:30～ ホテルプラザ勝川
5. GSE スウェーデン・ウメオー(2320地区)地区大会について
6. 2001～2002年度 地区便覧について
7. 地区主要行事日程について

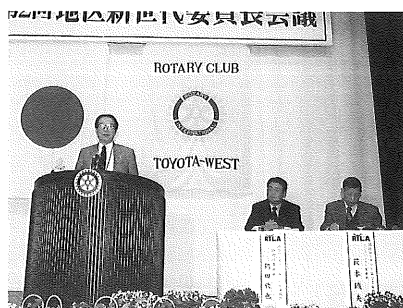
第2回 地区新世代委員長会議報告

地区新世代委員会 委員長 鶴田 欣也

開催(西尾KIRARA RC)

- (4)教育評論家による講演会(テーマ「家庭こそ教育の原点」)開催(小牧RC)
- (5)「性感染症」をテーマにした講演会開催(知立RC)
発表後、委員長報告、IAC委員会報告、RAC委員会報告、RYLA委員会報告を行い、ガバナー補佐の講評をいただき第2回地区新世代委員長会議を終了いたしました。

今年度の新世代活動も終わりに近づきますが、次期の委員長さんへの引継ぎを十分していただき新世代に関する活動が一層成果を上げられるようお願いします。



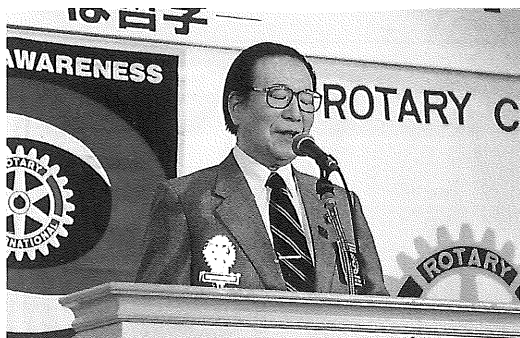
第2回地区新世代委員長会議は、去る3月17日(土)に愛知県藤岡町にある「トヨタ労連つどいの丘」でガバナー補佐初め地区役員の方のご出席をいただき開催されました。

会議では藤井ガバナー補佐のご挨拶のあと、66RCからいただいた今年度の活動報告の中から5RCにお願いしてテーマや取組み方法を発表してもらいました。

各RCの取組みテーマは多岐にわたる問題を反映してさまざまなものがありますが、会議では各クラブの今後の活動の参考と思われる次の取組みについて発表していただきました。

- (1)田原RCとの共同による「地元小学校と長野県小学校児童との合唱の夕べ」開催(渥美RC)
- (2)「地元小学生と青少年交換学生との交流会」開催(名古屋大須RC)
- (3)市内の先生を対象とした「KIRARA教育1泊研修会」





藤井ガバナー補佐

西尾張分区

「ロータリーは哲学」

西尾張分区ガバナー補佐 藤 井 忠

開催日 2001年3月3日(土) 13:30～19:30
 場 所 マリオットアソシアホテル
 ホスト 西春日井ロータリークラブ
 参加者 特別出席者12名、一般参加者378名 合計 390名
 内 容 基調講演 「超我の奉仕」 講師 浅井大美子
 シンポジウム 「奉仕の実践」
 パネリスト 浅井大美子 牧野俊一
 吉村城太郎 伴 義子
 懇談会 尺 八 渡辺峨山 琴 大久保智子
 マジシャン 菅原英喜



講師 浅井大美子氏

西尾張分区のIMが「ロータリーは哲学」のメインテーマの下で、盛大に開催された。福田ガバナーは「20世紀後半、ロータリーは大変な拡大を遂げ、経済発展も目ざましく、現況は頂点にある。今ロータリーは何をすべきかについて『ロータリーは哲学』の切口で、その回答を求めようとしているのが、藤井ガバナー補佐で、参加者は大いに動機づけられると思う」と、挨拶された。

藤井ガバナー補佐は、遠大なテーマの下で、今後のロータリーの活路を開くため、ロータリアンでない、ボランティア活動家の奉仕の体験を学び、知り、奉仕の誠について、意識を喚起し、行動する哲学を学びたいと述べた。

続いて、基調講演会では、「超我の奉仕」と題してNPO法人理事（琴の演奏家）で国際的ボランティア家でもある浅井大美子氏が体験して得た、奉仕のついでにの考えを述べた。

琴を通じて、数十ヶ国で、奉仕活動をして参りましたが、日本の子供達は人を信じる教育を受けていません。人が人を信頼できなくて何ができるのでしょうか。又ありがたい感謝の気持ちが奉仕の精神でもあり、大人が何かをしなけ

れば子供は立ち上がって来ません。奉仕の精神があれば子供達に声をかけてほしい。悪いことは悪いと、叱ってほしい。良いことはほめてあげてほしい。困った子供達を救うのは、体当りすることです。又日本の文化についてもなくなって来ております。

経済より文化が先行しなければ、国は滅びます。ローマが滅亡したのがこの例です。日本は経済だけが前に出て、人間性が崩れたのだと思います。隠れて、かっこのいいことを言っているのが奉仕ではありません。

1人ずつが立ち上がり、皆様の1人ずつの気持ちと、奉仕の精神を、今以上に捧げてあげてほしいと、春のような暖かい気持ちを伝えてほしいと結ばれました。

第2部のシンポジウムでは藤井ガバナー補佐がコーディネーターを担当、浅井大美子氏を迎えて、牧野俊一、吉村城太郎、伴義子の各パネリストが日本の伝統文化を伝えてほしい、世界に通じる常識を身につけてほしい、知的障害者にスポーツを通じて、社会に参加の道を開いてほしい、とボランティアを通じて、活動されたことを話されました。



第3部懇親会は、会場を移し、尺八、琴の演奏をバックに杯を重ね、マジックでは目が釘付けになり、福田ガバナーはマジシャンと共に、最大のサービスをしていただき、各ロータリアンの更なる友情の絆を深めることが出来た。





林ガバナー補佐

東三河分区 危機意識を喚起し 進んで行動を

東三河分区ガバナー補佐 林 成樹

開催日 2001年3月11日(日) 13:30～17:30
 場 所 ホテル日航豊橋
 ホスト 田原ロータリークラブ
 参加者 特別出席者 19名、会員571名
 第一部 式典
 第二部 講演会 テーマ 『新たな危機時代を迎えて…』
 講師 元内閣安全保障室長 佐々 淳行 氏
 第三部 懇親会



快晴の中、21世紀最初のインターシティ・ミーティングが東三河の中心地豊橋で開催され、IMの趣意であります「面識を広め親睦を深め、情報交換と会員の研修」の場として、意義あるミーティングとなりました。

福田ガバナーはじめ、多くの特別出席者のご出席をいただき盛り上げていただきました。

講演会では、現在の日本社会の状況を見ると、モラルの欠如等、危機を感じる今日、危機管理の第一人者であります佐々淳行氏をお迎えし、「危機管理を喚起すべく」講演をしていただきました。

危機の状況下で、人間集団にとって最も必要なのは「指揮官」であり、有事のときと、平時のときとは異なった能力が要求される。平時には調整が尊ばれる。有事のときには瞬時の決断が要求される。有事、敵に襲われたライオンの群れで、雄ライオンが雌や仔を逃がすため戦うような強さが求められる。国家管理の上でも、経営管理の上でも、この事が極めて重要である。

「安全管理」と「危機管理」は対句である。定期点検と異常なし報告が基本である「安全管理」が十分機能して初めて「危機管理」が出てくる。「危機管理」をするためには「組織管理」ができていなければならない。「組織管理」



講師 佐々淳行氏

をするためには心身共に「自己管理」が大切である。

佐々氏の講演は、魅力的なものでした。そして予定時間をオーバーするような熱のこもったものとなりました。

懇親会では、和気藹藹のうちに、懇親の実を上げることができました。ホストの田原クラブが用意しました、

各クラブ名入りの「田原風」が分区のクラブに一枚ずつ贈られ好評でした。

ご出席いただきました皆様に心から感謝申し上げます。





坂田ガバナー補佐

東尾張分区

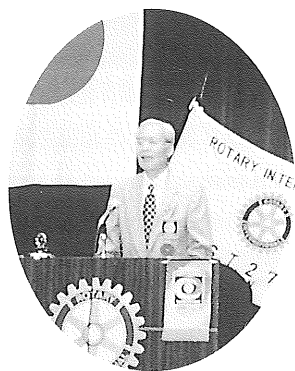
「21世紀の万博を考える ロータリーは万博にどう関わるか！」

東尾張分区ガバナー補佐 坂田 隆

開催日 2001年3月24日(土) 13:00～18:40
 場 所 愛知青少年公園 国際児童年記念館こどもホール
 ホスト 瀬戸北ロータリークラブ
 参加者 福田清成ガバナー他 22名
 一般会員 597名
 内 容 第1部 式典
 第2部 フォーラム
 「21世紀の万博を考える～
 ロータリーは万博にどう関わるか！」
 基調講演「共生の思想と都市」建築家 黒川紀章氏
 第3部 次期ガバナー補佐及びホストクラブ紹介
 第4部 懇親会

春おだやかに晴れ渡った3月24日(土) 東尾張分区のIMが、愛知青少年公園で開催されました。

第1部は式典で、ホストクラブ会長が「この時期に愛知万博について、ロータリーがどのように関わり、どのような役割を果たすことが出来るか！又、愛知万博が世界最大である万博にふさわしい、歴史に残る文化事業になるように期待する」と挨拶をして式典は開催され、続いて第2部



福田ガバナー

では、黒川紀章先生の基調講演で「共生の思想と都市」の演題で、共生の思想について、その哲学を述べられ、要旨は「日本が明治以降置き忘れてきた、日本の伝統的文化である曖昧な考え方を再生させること。と同時に現在の西欧的思想や欧米社会の行き詰まりを克服する新しい思想として模索する」ことが大事と、すなわち「21世紀は従来の自然か人間か、右か左かといった二元論の考え方をやめ、その中間の曖昧な部分を大事にしていかなければならない。」との持論を展開された。

ひとつの考え方、方向性を示す黒川哲学に、ロータリー



2005国際博委員長 内藤明人PG 成功に向けて、ロータリアンとして出来ることは何であるかを考える機会であった。

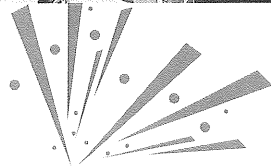
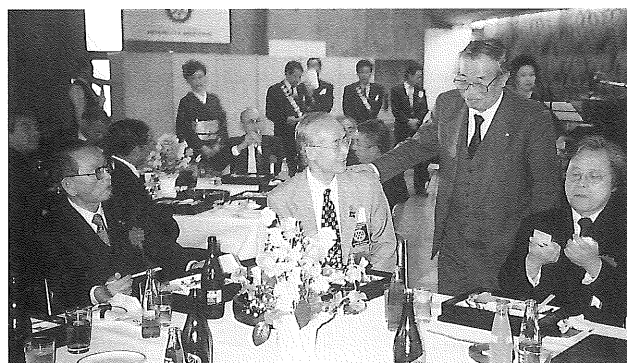
その意味では、大変意義深い時を得たIMであったと自画自賛している。

第4部は、ロータリーの親睦を深める懇親会で黒川紀章先生も居心地が良かった所為か、最後まで出席され、各来賓の方からも丁寧な挨拶を頂き、大変盛り上がった。

最後になりましたが、会員各位からの絶大な協力を頂いたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



講師 黒川紀章氏



国際ロータリー 第2760地区 環境保全委員長会議

地区環境保全委員会 委員長 國分 孝雄

第2回地区環境保全委員長会議が去る4月11日にウェスティンナゴヤキャッスルで開催され、当日は、福田清成ガバナー、奥谷博俊パストガバナー、野村重彦パストガバナー、伊藤鶴吉地区幹事、太田賢太郎ガバナーエレクト、坂田 隆、小坂忠勝、星川直志、林 成樹、花沢 勇、加納隆各ガバナー補佐、千田 毅地区社会奉仕委員長、鈴木孝則前年度地区環境保全委員長はじめ、地区内78クラブの環境保全委員長等、約110名に及ぶ多数のご参加をいただきました。

会議は第一部と第二部とに分かれて開催されました。第一部では、(財)2005年日本国際博覧会協会事務次長本田幸雄氏、愛知県企画振興部長(前国際博推進局長)森 徳夫氏、国際ロータリー第2760地区ガバナー福田清成氏をパネリストにお迎えし、地区環境保全委員長國分孝雄をコーディネーターとして、「愛知万博と環境保全」ー今、ロータリーは何をなすべきかーのテーマにてシンポジウムが行われました。

すでに、ご承知の通り、私達の第2760地区で2005年に「自然の叡智」をメインテーマに開催されます愛知万博は環境博、市民博ともいわれています。昨年12月15日のBIE総会で正式に登録され、2005年3月25日の開催に向けて、本格的に動き出しています。第2760地区でもここ3年に亘って地区大会で毎回、愛知万博の推進及び支援が機関決議されています。その上、今年より第2760地区では会場内にロータリー館を設けるべく活動を開始いたします。

国際ロータリーが20世紀になした最も大きな活動の一つにポリオの地球上からの根絶があります。これも今一步のところに来ています。恐らく、2005年の国際ロータリー設立100周年では根絶宣言がなされると思われます。国際ロータリーの次なる重要課題の一つは地球規模での環境(保全)問題であると思います。折しも、国際ロータリー100周年に当る2005年愛知万博は当第2760地区から世界に対して環境保全に関して情報の発信できるよい機会があります。

一方で、私達の第2760地区では、1999-2000野村重彦ガバナーはその方針の中で「藤前干潟の問題は、生物の保護と同時にゴミ処理への関心を私達に提起しました。環境保全には、今や地球規模での行動が求められています。エコロジーとエコノミーを融合しつつ、まずは地球規模での繋がりからスタートしましょう」と訴えられています。2000-2001福田清成ガバナーは「昨日と今日を比べてもそんなに変化は感じられません。しかし、環境悪化は間違いなく進んでいます。異常気象、異常現象、又今までにない病気等は環境悪化の現状をわかっている、思い切った方向を変えようとしないう人間に対し目に見えない大きな力が警告しているように思えます。自然循環による環境保

全が必要ではないでしょうか」と述べられています。

2001-2002太田賢太郎ガバナー予定者はやはり地区運営方針の中で、「日々悪化をたどる環境は、人類の生存を脅かすまでに至っています。水質保全、地球温暖化、大気汚染、食糧問題等今対策を講じなければ手遅れになる恐れがあります。大量生産、大量消費に慣れた我々は、これを改めて循環型社会を意識した消費態度が必要です。環境問題を解決するには、一人一人の人間の行動が重要です。家庭で、職場で、地域社会で環境悪化を食い止める行動をしよう」と強く言われています。今、私達第2760地区のロータリアンがこぞって、この地区内で開催される愛知万博をジャンピングボードとして、環境問題を真正面からとらえ、考える必要があります。

更に、今回のシンポジウムの中で、森氏は「この愛知万博を契機に、環境についてこの地球の市民一人一人が意識を持ち、地球環境保全や循環型社会の構築に参加することが必要であり、又逆に、幅広い市民参加があって初めて愛知万博の成功がある。」本田氏は「環境については2歳や3歳の子供の頃からの教育により、その意識が培われる。市民一人一人の環境についての意識が高揚するには時間が掛かります。この愛知万博は子供達の環境教育の場にすべきである。」と、各氏は市民一人一人の環境意識の大切さを述べられ、その実現に向け、ロータリーの果たす役割に期待されました。又、福田ガバナーは「環境問題は世界中のロータリーが重視しています。愛知万博ではロータリーの常設会場を設け、日本全国や世界に環境問題について強くアピールしなければならない」と愛知万博でのロータリーの役目を協調されました。フローアからの意見として奥谷パストガバナーは「今や、一番重要な環境問題は地球の温暖化であり、人類の滅亡にも係ることである。この問題を解決するためにも愛知万博は良い機会であり、地球社会の代表者でもあるロータリアンが愛知万博についても、もっと意識を喚起し、行動を起こすべきである。」と専門家として熱く訴えられました。小坂ガバナー補佐は愛知万博推進の長い係りの中から、「自然の叡智がテーマの愛知万博はもっと魅力のあるポリシーを表に出し推進すべきである。生と死、生活と自然の関係等についても考え、人類の21世紀での生き方を考えるような博覧会にすべきである。」と主張されました。最後に林ガバナー補佐の御礼を兼ねたご講評をいただきました。

次いで第2部では参加者による情報交換の場として懇親会が持たれ盛会のうちに第2回地区環境保全委員長会議が終了しました。

なお、当日のシンポジウムの様子が翌日の中日新聞・読売新聞の朝刊にて報道されました。





「やわらぎむつび」
とルビを振った
ロータリアン

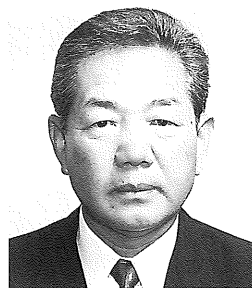
井上 穂
(豊橋ゴールドンRC)

最近「ロータリー理念」についての話題が多い。「ロータリーの友」に深川PG、天童RCの野川氏等々…が思いを込めて記事にされている。又周知の通り本年度地区ガバナの方針の最初に「職業奉仕の理想の強調と会員増強」が掲げられた。これらは「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し…」と職業奉仕を理念とするロータリーのアイデンティティーが昨今薄らいできている事に起因する。

しかるに現況のRIは「ロータリーは変化に順応しなければならない」と人道主義に基づいた援助、ボランティアが活動の中心となり、毎年拡大の為の会員増強を危機感を持って訴えている。さらにロータリアンにとり晴天の霹靂とも云えるニューモデルクラブのパイロットプロジェクトの実施を規定審議会に提案した。まさにニューロータリークラブの出現で様変わりし、益々二極化に向かう事を危惧する。ロータリーの真髄「Vocational Service」を職業奉仕と訳したロータリアン。ロータリーソング「我らの生業」の平和親睦を「やわらぎむつび」と含蓄あるルビを振ったロータリアン。登録会員より出席会員（当日登録）の方が多き大会が全てのロータリーにはあったと誇りを持って語ったロータリアン。多くの日本のロータリアンが現状を憂い、警告している。「ポールハリス、アーサー・フレデリック・シェルドン」が夢みたロータリーはこんなはずではなかったと。He profits most who serves best の崇高な奉仕理念、ロータリーの根幹でもある。私にとり生涯のテーマとして、新しい世紀に向い、さらに研鑽したいと痛切に思う。（多くの先輩ロータリアンの文献を参考にさせていただきましたが、未熟な理解度ゆえ間違った部分もあろうかと存じます。ご容赦願います。）

ロータリー歴

1991年 入会
1993年～94年 会報委員長
1996年～97年 環境保全委員長
1997年～98年 社会奉仕委員長
2000年～01年 職業奉仕委員長



今こそ
“心のふれあい”を

岡田 善光
(豊田西RC)

二十一世紀を迎え、あらためて二十世紀はどのような特徴をもった時代であったかを振り返ってみると、多くの人たちの共通した見方の一つは「物質文明の栄えた時代」ということではないであろうか。科学技術の進歩や、ものづくりにおける生産性は著しい発展を遂げ、日本はものの豊かな国へと成長した。

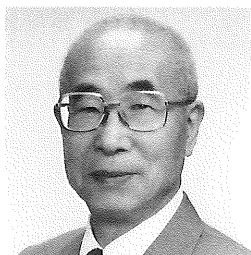
一方、精神文明はどうであったかと考えてみると、少なくとも物質文明とバランスがとれるほどの発展はなかったように思える。その結果生じた物質と精神のアンバランスというヒズミが、学校に行かず、仕事に就かず、希望と目標を失った、即ち生きがいの持てない若者を生み出してしまったように思う。例えば、未成年者の異常犯罪が頻発したのは、社会的ねじれ現象の一つに思える。又、企業においても、基本理念を忘れ、利益のみを重視してきた為、それが引き金となって自然環境の破壊や公害問題を引き起こしたように思う。更に個人においても、自分の欲望のみを考え自己中心主義になり、他人の権利を踏みにじっている事や、他人に痛みや苦しみを与えていることに気づいていないように思える。

二十一世紀は心の時代であって欲しい。「人と人との心の交流を大切にし、しいてはそれが人の心を豊かにしていく」、そんな時代の幕開けであって欲しいと願っている。我々ロータリアンとしても“奉仕の心を礎に、人と人との心のふれあいを大切にしていく”を第一にこれからのロータリー活動に精進していきたいと思っている。



ロータリー歴

会員歴 16年
1995年～96年 新世代委員長
1996年～97年 雑誌委員長
1998年～99年 クラブ奉仕委員長
1999年～00年 副会長
米山奨学功労者



成田 敏 圀 (岡崎東RC)

20世紀初頭に生まれ、20世紀と共に歩んできたロータリーが志向するものは、究極的には人類愛と世界平和であろう。

内外ともに激動の20世紀の中で、ロータリーの果たしてきた役割は、いくたの地道な奉仕活動が着実に

進められ、世界平和への貢献は大きなものがあった。

いま、世紀末の暗い印象の20世紀が終わり、いよいよ21世紀の扉が開かれたが、明るい未来を開くために21世紀のロータリーに夢をもちたいものである。

ロータリーも、時代と共に少しずつ変わってきているが、変えてはならないものがある。それは、ポール・ハリスの創始の精神である。

ロータリーは人生哲学であり、クラブは奉仕の哲学を学び、人生修養の場であり、ロータリアンは「四つのテスト」をものごとと全ての規範として行動すべきではなかろうか。

最近、国際ロータリーの組織が肥大化し、その維持のために会員の増強・拡大が要請されるとの声を聞くが、ロータリーをもっと簡素化し、地区大会はじめ各種会合等も形式に流れず質素にして会費低減をはかり、クラブも経常的経費を抑制することが望まれている。

21世紀のロータリーとしては、数ある奉仕活動のうち特に次代をになう新世代育成と環境問題に最も力を注ぐ必要がある。

仏教で説く「共生」「自利利他」こそロータリーの精神ではなかろうか。ロータリーは永遠である。

ロータリー歴

1975.1 入会	1991 地区協議会実行委員長
1986-87 会長	1993 第1回ライラセミナー実行委員長
1987-88 創立15周年実行委員長	1993-94 西三河第一分区分代理
1990-93 地区ロータリー財団委員	1998-99 地区ライラ委員
ベネファクター ポール・ハリス・フェロー 米山功労者	



成瀬 尚 勝 (岡崎東RC)

20~21世紀にロータリアンとして国際ロータリーに在籍できることに感謝致します。1996年(平成8年)に推薦して頂き当クラブに入会させていただきました。

ロータリーについては、無知の状態での入会でした。企業の経営とロータリー活動の狭間に多忙な毎日でした。4年間にロータリーの奉仕活動に参加させていただき、ロータリーの基本の一部を理解できたかなと思います。理解をするには、10年はかかると思います。企業を設立して8年目の経営者でロータリアンとしての奉仕活動は、

第一は、この低成長時代をどんな方法を取っても生き延びる事です。企業が存続をしない限り例会の出席も会費を収める事も出来なくなるからです。

第二は、企業に従事する人材の育成です。少数精鋭による経営感覚のある人材は、3~5年の歳月を必要となります。

第三は、お客様に必要とされる企業を造る。利用価値の無い企業は、生き残れない。これが本音ではないでしょうか。

ロータリーの友を、毎月講読させていただいておりますが、建設的なご意見に感心されております。私は、どちらかと言えば、現実派であり行動派でもあります。

奉仕活動には、定義は無いと思います。金銭的な奉仕も、行動的な奉仕も、精神的な奉仕も奉仕には変わり無く、出来る範囲で奉仕する事に壁はないと思います。

21世紀を迎えるに、国際ロータリーは、世界の平和を実現するために、世界の不毛の地にロータリーの草の根を植える事が必要です。ロータリー精神が浸透すれば、世界は平和の緑の草で敷き詰められる事でしょう。また、地区ロータリーは、若いエネルギーに満ち溢れているロータリアンの発掘と育成を勧めるべきです。国籍を越えた仲間を造り、家族ぐるみで対話がもてるロータリークラブを心から望むものです。

ロータリー歴 4年



東京RCへ

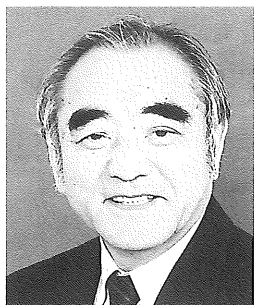
メイキャップ

貴田 永 克 (春日井RC)

ロータリークラブの歴史も百年近くを数え、いよいよ21世紀へと新しい世紀を迎えました。今世紀の始めは国際的にも国内に於ても相当なスピードでの変化が予測されております。ロータリークラブ及びロータリー活動に於ても同様な事が考えられます。ポリオ・プラスの完全な絶滅後、我々は地雷による被害を少なくする活動をするのか他の人道的な奉仕をすべきではないでしょうか。名前も余り知られていない中小都市の弱小クラブに所属する私ですが我国のロータリーの歴史について興味を持ち1999年12月1日(水)に東京ロータリークラブ迄勉強に行き参りました。その時一番感じたのは80年前米山梅吉翁を始めとする少数の方が奉仕の理想に燃えて結成されたクラブが戦争の9年間と云う空白があるにせよ現在会員数360名に近いクラブに成長していることが全世界のロータリークラブの発展を如実に表していることと云うことであります。20世紀に於ては景気の低迷その他の理由により会員の減少が心配されましたが私は逆説的に六大都市の名門クラブに於いて会員の増強を推進しその力を地方弱小都市のクラブでの退会防止に役立てることが出来たならば正に新世紀のロータリークラブ全体の拡大につながると考えております。又私達は如何に規模が拡大しようともポール・ハリスが初めてクラブを結成した時の想いに立ち返る必要があると思います。今の様な形式に流れ上意下達のシステムは彼の頭の中には無かったと思います。苦しい生活の中での異業種交流、会員の精神的な援け合い励まし合い、その中で生れて来た奉仕の理想こそロータリーの原点ではなかったでしょうか。日本のロータリーもあの関東大震災の中から蘇ったことを考えれば21世紀に入った今こそロータリーの基本的精神を出発点にしたら如何でしょうか。又私達が現在拠り所としている標準定款細則或は四つのテストにしてもその邦訳は1950年頃からのものであると伺って居ります。基本となるものは英文ですがそれすらも現状にそぐわない所があります。折角新しい世紀になりましたので現代にマッチした邦訳も必要ではないでしょうか。以上若輩の私が生意気な事を申し上げて申し訳ありませんが皆様の中で1人でも同意見の方がお見えになりましたら幸いです。

ロータリー歴

1974年8月	入会
1988年	幹事
1990年	副会長
1999年	地区環境保全委員
2000年	会長



「職業の倫理的水準」
を高め 社会貢献を!

飯 田 幸 雄
(尾張旭RC)

今年度の地区大会は、福田清成ガバナーが卓越した指導性を発揮され、いくつもの新しい試みをされております。特筆すべきは、福田Gは年ごとに形骸化しつつある「職業奉仕」をあえてロータリーミーティングのテーマに選ばれ、自らがデモレーターになり企画進行され、ガバナーおよび4人のパネリストより大変に示唆に富んだ発言をいただきました。これこそ正に21世紀の扉を拓くにあたり、大きな警鐘を鳴らしているものとして賛辞を贈りたいと思います。

私は1998～1999年度の東尾張分区のIMを内藤Gのご指導のもと“今一度ロータリーを見直し 21世紀に向けて魅力あるロータリーを”をテーマに掲げて開催しました。特に留意したのは基調講演で、神戸政治PGには「ロータリーという親睦と奉仕」、佐藤千寿PGには「ロータリーの原点」という演題をお願いしました。ご兩人より会員に大変に有意義なロータリー情報を提供していただき感謝しております。佐藤千寿PGは「私をして言わしむれば、ロータリーの原点は正にこの精神的骨格が完成した1923年にあるのです。『決議23-34』はロータリアンたる者反復唱和すべき聖典でありましょう。」と述べておられます。

前置きが長くなりましたが、今やロータリアンの職業人としての責務は国際的な広がりをもって、初期のロータリー時代とは較べものにならない位重大になって来ています。21世紀に向けて今こそロータリアン一人一人が思いやりの心をもって、相手の立場に立ってものを考え、行動し、自分の職業の倫理的水準を高めていくことにより社会に貢献するように不断の努力を望みたいものです。



思いやる心があれば
——人にも自然にも——

鈴 木 元
(瀬戸北RC)

1905年、アメリカの青年法律家ポール・ハリスによって、創られたロータリーが発展してきた根本理由は、ロータリーが政治と宗教を離れて職業奉仕という現実的課題を中心に集まった職業人のクラブであったからだと思います。

ロータリーの高邁な精神は、綱領に「事業および専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきである」という認識を深めること。そして、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること」と謳われており、21世紀にも引継がれて行くべき、ロータリーの金看板であると思います。

この社会に棲息するすべての人間は、何億からの中の一つの精子と一つの卵子の出会いから生まれ、これは必然ではなく偶然の出会いから人間ができるのであります。従って、人間の生き方も必然ではないはず、どう生きるか、どういう職業に就くかは自分自身で考え、自らが決めることだと思います。

人間はすべて生まれてから家族という社会に組み入れられ、長ずるに従って好むと好まざるとに拘わらず、自然社会・目的社会に組み入れられるのであって、このことを意識し、自覚するところに人の人たる所以があると思います。そして、社会の中に組み込まれるということは、その中に位置づけられることであり、何らかの役割を持つことであると思います。まさに職業とは人が社会の中で持たされる役割という意味だと思います。云いかえれば、職業は社会の要請する役割であり、職業奉仕は社会人たるものの義務であると思います。

職業奉仕というものは、職業を社会の中で各人が持っている役割を理解するところにあると思います。私達は人間であり、幾層にも重なった社会に組み込まれている以上、単なる自然認識の観点を超えたロータリーの職業観を持ち、奉仕の理念をもって精進することは人間倫理の当然の要請であると思います。

ロータリアン各々が、ロータリー精神を学び、自分を鍛練し、加えて、人も自然も思いやる心があれば、ロータリーは永遠に発展すると思います。

ロータリー歴

1197年1月3日 尾張旭RC入会
1984年～85年 幹事
1992年～93年 会長
1994年～95年 地区会員増強副委員長
1995年～96年 地区会員増強委員長
1996年～98年 地区拡大委員
1998年～99年 東尾張分区 分区代理(ガバナー補佐) ポールハリス・フェロー、米山功芳者

ロータリー歴

1978年10月 瀬戸北RC設立に伴いチャーターメンバーとして入会
2000年～2001年 会長
ポールハリス・フェロー



先人たちの 「職業奉仕」への 情熱を受け継ごう

関口 宗男
(名古屋みなとRC)

ロータリーの職業奉仕の理念はポール・ハリスにその源を発し、アーサー・フレデリック・シェルドンによって体系づけられ、1915年のサンフランシスコの国際大会において、「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」、俗に道徳律の宣言となっていくのである。この道徳律の真意は、ロータリアンはひたすら自我保全の権利を主張するものではなく、他人を滅ぼすよりは寧ろ他人に滅ぼされんことを選ぶのである。然るが故にこの道徳律は愛の精神を基盤にして構築されたとされています。私はこの道徳律を読み、その成立経過を知るにつけ、先人たちの職業奉仕への情熱を想うのである。

日本のロータリーにおいても、1936年大連ロータリークラブの決議による「ロータリー宣言」があります。この宣言は大連RCの古澤文作さんが道徳律の11ヶ条を熟読し、日本語で5ヶ条に結実させたものである。この宣言は日本ロータリー史上の金字塔と言われています。世界的な不況の時代でロータリークラブの会員も減少した1931年日本の2代目ガバナーに就任した井坂孝さんは「ロータリアンは、3ヶ条を守るべし」として、約束を守る事、賄賂を贈らない事、徒に慈善事業に憂き身をやつさない事、を提唱されました。日本ロータリーにおいても、先人たちの職業奉仕への情熱を想うのである。現状をみるにつけ先人たちの職業奉仕への情熱を受け継ぐ必要があるものと考え次第である。



ロータリー歴

1979年6月1日 入会
1983年 S. A. A.
1988年 青少年奉仕、ローターアクト
1995年 副会長
1997年 会長
2000年 地区職業奉仕副委員長

ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者



女性会員の 増強を!

松岡 昭
(名古屋名南RC)

吾々名古屋名南ロータリークラブは21世紀の幕あけと時を同じくして、創立10周年を迎えました。

当クラブの特色は、女性会員が入会された名古屋市内第一号クラブであります。女性チャーターメンバー4名でスタートし、今や90名中17名の会員へと拡大して参りました。昨年度は名古屋錦クラブ同様「女性会長」第一号としても立派に重責を果たして頂きました。

さて、「退会防止」「会員増強」は歴代ガバナー方針の中にも必ず謳われて居り、単位クラブにとっても重大な永遠のテーマであろうかと思われます。

ここ数年各クラブとも会員の減少が大変な問題となりつつあります。目下各クラブがかかえて居るこの問題の解決に特効薬はないものの、我々のクラブでは「女性会員の増強」を積極的に進めてまいりました。これが会員減少を喰い止める要因ではなかったかと思ひます。

21世紀を迎え女性会員の積極的参画があつて然る可きと思われます。

女性会員の入会をためらっておられるクラブもおありの様ですが、当クラブに於いては10年間なに一つ問題もありませんでした。なんと云つても女性会員が例会場、同好会にいらっしゃるだけで雰囲気も和らぎますし、クラブ奉仕にしても女性ならではのきめ細かな対応に必ず出会えます。

同好会では女性会員から「お茶の会」、「グルメの会」のお誘いをうけ、又男性からは「囲碁の会」のお誘いを申上げました。お陰で今や女流棋士が沢山誕生しました。当クラブの会是は「明るく楽しく」であり、今世紀も親睦を介して奉仕活動にチャレンジして行きます。

ロータリー歴

1970年 名古屋東南ロータリークラブ入会
1991年2月19日～6月30日
名古屋名南ロータリークラブ新設に伴い移籍→初代会長
1991年～92年 同会長
ベネアーファクター

おめでとうございます

田原RC創立40周年記念式典

日時 平成13年4月22日(日)
午前11時～午後2時
場所 田原町華山会館

福田清成ガバナーをお迎えして、東三河分
区10クラブの会長、
幹事、元会員、物故会員
ご婦人等のロータリー
関係者と田原町長を始
めとする御来賓を招待



して、記念式典を開催致しました。田原RCは昭和36年
3月24日豊橋RCをスポンサークラブに、森泰樹PGを
特別代表として設立。22人でスタートし、現在は73人の
会員です。

松井昭会長は「これまで奉仕を受けてくれた人たちへの
お礼の気持ちをこめて、行政、経済、文化、教育、福祉、
国際交流などの各分野で記念事業を展開し、これを会員の
強い団結力で成功させてきた。次の50周年に向けて豊橋

RCに習って頑張りたい」と挨拶した。物故会員への黙祷
に続き、渡辺佳成40周年実行委員長が記念事業を紹介し、
福田ガバナーに目録を贈呈しました。次いで松井会長より
森 泰樹特別代表、神野義郎豊橋RC会長、市川昌也蒲郡
信用金庫理事長に対して感謝状を贈呈と、チャーターメン
バーの柴田敏幸・中神正巳の両氏、16名のバスター会長、2名
の30年以上の在籍者及び20年以上の在籍者の表彰を行い
ました。

白井孝市田原町長、大場義市赤羽根町長の挨拶の後に、
福田清成ガバナーより、地区を代表されましてご祝辞を、
又スポンサークラブ祝辞を豊橋RC神野義郎会長に頂きま
した。実行副委員長河辺勝巳会員の閉会の辞に続いて、祝
賀会がなごやかなうちに執り行われました。



おめでとうございます

西春日井RC創立25周年記念 台湾永和RC姉妹提携継続式

日時 2001年4月21日(土)
PM5:30～8:30
場所 名古屋マリオットアソシア・ホテル

1975年10月14日に創立し、25年目の昨年の秋、当
テリトリーは東海豪雨による新川決壊は、予想外の大災害
に遭遇しました。会員の60%が被災者となり、地域社会
の災害復興、会員の心痛は未だ回復に至りません。低迷す
る景気、政治、経済、教育、文化など、社会システムの変革
に対応すべき大きな節目である21世紀のスタート、25周
年の記念の年となりました。本年度RI会長のテーマ、
RID2760福田ガバナーも提唱される「意識を喚起し・進
んで行動を」は、今日の私たちクラブに最も相応しい行動
指針であります。25年の歴史と伝統「和をもって尊し」



を基盤に初心に戻り、当
クラブの本年度活動指針「温
故知新」の実践の時と厳
しく受け止めて、四半世
紀の節目を21世紀に相
応しいクラブ文化の創造の
機会と位置付け、地域社
会と交流を深め更なる発展を目指します。

1978年、RID3480永和扶輪社と姉妹クラブ
とし心通う国際交流が育まれています。昨年度が
継続調印の期、双方の了解によりここに19名
のご来訪を頂き、福田清成ガバナーに立会人をお願い
し、厳粛に永和RC姉妹提携式が行われました。

春日町長を始め地域社会の関係者、RID2760

福田ガバナー、伊藤地区幹事、西尾張分区分RC会長、幹事、
会員、姉妹クラブRID3480永和RC、会長始め19名、
友好クラブRID2670阿波池田クラブ会長始め14名のご
来賓、やむなく退会された当クラブ元会員のご参
加、総勢200余名「心と
環境」をテーマに開催し
ました。祝賀会にご来賓
の方々の応援を得、鏡開
きで始まり胡弓演奏、飛
び入りの阿波池田会員の
阿波踊り、永和RC夫人の揃いのブレザーでの合唱と宴の
盛り上がり感動しました。



記念事業は水害災害の対策事業を中心に5関係者への支
援。昨年末、ボランティアグループと共同で地域被災住民
に笑顔をと14箇所餅つきを会員自ら杵を持ち参加。ボー
イスカウト二団体ベ助成、春日町約400名の子供達と
の青少年健全育成と環境保全
を目的とした五条川へ錦鯉の
放流、ロータリー財団、米山
奨学会への寄付。永和RCの
希望により共同事業とし米山
奨学会に特別寄付。



おめでとうございます

豊山-城山RC 15周年記念式典



平成 13 年 3 月 13 日豊山-城山ロータリークラブ創立 15 周年記念式典を長江博実行委員長の下に開催しました。江崎豊山町長ご夫妻、福田ガバナー、伊藤地区幹事、坂

田ガバナー補佐はじめ東尾張分区分各クラブの代表の方々、スポンサークラブの名古屋空港RCからは福田パストガバナー、吉川ガバナーエイド、会長、幹事、姉妹提携クラブの飯田東RC会長、幹事及び台湾仁愛RCの21名、その他友好クラブで東京臨海RCの方々総勢50数名のお客様をお迎えできました。第1部は通常例会を行いました。第2部は熊沢実行副委員長の式典開会の辞に始まり、国歌斉唱、物故者の追悼、実行委員長の歓迎の挨拶と続き、記念事業のR財団、米山記念奨学会への基金を福田ガバナーに、豊山中学校への育成基金を江崎町長に贈呈しました。第3

部は祝宴。15周年に寄せて作った詩を会員によって吟詠、「合戦川中島」の吟詠と剣舞が演じられ、引き続き会員のご婦人の方の有志によるコーラスが行われた。曲目は「春の歌」「慕情」又、台湾の歌「雨夜花」を仁愛RCのメンバーと合唱した。特別に仁愛RCのメンバーにより陳会長夫人のピアノ伴奏の下1曲花を添えていただきました。特別なアトラクションもありませんでした。この式典に参加したことによって更に深い絆が醸成されたものと確信いたしております。予定の20時30分に式典を終了し15年の歳月を締めくくり20年、30年へ向けて発展の第一歩を踏み出しました。



おめでとうございます

名古屋 創立十周年記念例会式典、 名駅RC 晩餐会ならびに講演会の開催

当クラブのメインテーマ「名駅から世界へ」の基に、去る4月7日、創立十周年の記念例会式典、晩餐会および講演会を名古屋マリオットアソシアホテルタワーズボールルームに於いて、福田ガバナー、松原市長をはじめ来賓90名をお招きし、旧会員ならびに会員のご夫人の半数余もご参加願ひ、総勢280名余りで盛大に開催いたしました。

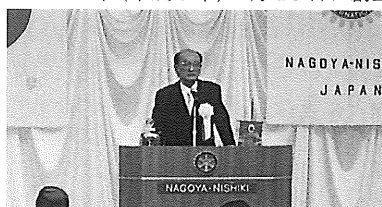
式典では、松原市長、福田ガバナー、白木スポンサークラブ代表より祝辞をいただき、また当クラブからは、次の6事業の実施を報告いたしました。

- 1) メインテーマに則り、名古屋市が提携している4姉妹都市紹介パネル台の乗った時計付照明塔（「友好」と命名）をJR名古屋駅太閤通口広場に昨年9月建立し、名古屋市へ寄贈。
- 2) 米山記念奨学会およびロータリー財団へそれぞれ50万円の寄付金を贈呈。
- 3) 会員の作詞による塔クラブオリジナルソング2曲を制定。
- 4) 創立十周年記念誌の発刊（5月下旬の予定）
- 5) 記念式典、晩餐会、講演会（コラムニスト、ジョン・ギャスライト氏による「ジョンさんのニッポン見聞録！」）の開催。
- 6) 当クラブ所属の11同好会による各十周年記念大会の開催。

尚、記念晩餐会は祝舞として、会員がシテを舞う能楽「石橋」で幕を開き、会員手作りの会を進め、皆様に十二分にクラブライフを楽しんでいただきました。

おめでとうございます

名古屋錦RC 創立5周年記念例会について



1996年（平成8年）4月16日に創立された名古屋錦ロータリークラブは新しい世紀とともに5周年を迎えました。

4月17日に創立5周年記念例会を開催致しました。多数の御来賓の御臨席を賜り、午前11時30分より記念例会

おめでとうございます

知立RC 創立10周年感謝の集い

知立ロータリークラブの「創立10周年感謝の集い」が、3月17日に知立セントピアホテルにおいて福田清成ガバナー、永田太三知立市長はじめ多数のご来賓のご臨席をいただき開催されました。

当クラブは1991年1月16日、刈谷ロータリークラブをスポンサークラブとして創立。同年2月1日にR・I承認を受けチャーターメンバー31名でスタートし、現在は64名まで拡大しています。

当日会員は午後3時に集合し、例会終了後の午後4時50分「感謝の集い（第一部）」が橋本光雄会長夫人順子様の開会の言葉により始まりました。会場の中にはパワーポイントによる画像が4つの大画面に写し出され、会の進行に伴って、効果的な演出がなされていきました。記念事業の一つである公募による地域支援事業では、知立・刈谷両市内の審査を通ったボランティア活動を中心とする、各種団体の代表の方々をお招きし、会場で支援金の目録が贈呈されました。閉会の言葉は金子利夫実行委員長夫人普子様を担当され、引き続き「感謝の集い（第二部）」の祝宴では歴代会長のほか、10年間と6年間ホームクラブ皆出席2名の会員が表彰されました。10周年を節目に、会員一同更なる躍進を誓い合いながら盛大裡に会を閉じました。



を開き、引き続いて5周年記念式典並びに記念事業報告を行いました。5周年記念事業として（1）ロータリー財団へ基金贈呈、（2）米山記念奨学会へ基金贈呈、（3）名古屋市立城北小学校へビオトープ製作費を贈呈致しました。続いて日頃から例会運営でお世話になっていきます名古屋ガーデンパレスの例会担当者、エレクトーン奏者、並びにクラブ事務局職員など5名に感謝状及び記念品の贈呈を致しました。御来賓の御祝辞の後、記念講演に移り『くらしと環境』の演題にて環境省環境カウンセラーの篠田陽作様よりビオトープを中心に環境保全に関する貴重な御講演をいただき、一同深い感銘を受けました。続いて昼食会に移り、女性会員の司会によってクラブ創立時のエピソードを先輩ロータリアンから聞きながら楽しくくつろいだひと時を持つ事が出来ました。なごやかな雰囲気の中に午後2時に無事記念例会を終了致しました。

第3弾

ロータリーを斬る

～ロータリーを愛すが故に～

座談会

地区大会でのパネルディスカッション「ロータリーを斬る」では、3人の女性パネリストによる軽快ながらも鋭い指摘に会場が大いに盛りあがったことは会員の皆様はご記憶でしょう。これを第1弾に月信9号（2月1日発行）の第2弾「叩けよ さらば開かれん？ 21世紀のロータリー」（名古屋東南RC四美女会の思い）と題して寄稿戴きました。

福田G年度も終盤を迎えた去る4月18日、地区事務所に於て第3弾として8分区より各1人、特にロータリー歴の浅い会員男・女4名ずつにご出席戴き、このシリーズのサブタイトルである「ロータリーを愛するが故に」をもとに大いに語って戴きました。

司会は地区大会で名モデレーターぶりを発揮されました上村晋也氏（名古屋和合RC）を迎え、150分間の討議を進めました。

（文中敬称略）



司会上村晋也
（名古屋和合RC）

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| 討 議 内 容 | ① ロータリーを知る | （理解—過去） |
| | ② ロータリーに物申す | （提言—現在） |
| | ③ ロータリーに期待する | （希望—未来） |

司 会 地区大会で何か活気のある事をとの提案があり、女性の会員も多くなり、又ロータリーも100年近くなって曲り角と言われているので、色々な問題を提議、討論して良い方向を見つければと、題目はきついが「ロータリーを斬る」と題し、パネルディスカッションをしました。この延長上で本日の座談会となりました。特にロータリーの本質論、特に「ロータリーとは何ぞや？」「奉仕とは？」「ボランティアとは？」等々話し合いますと意外に皆さんが燃えてくるという経験があります。是非忌憚なく、語り合ってください。

新 美 ロータリー歴は3年です。ロータリーのことを理解出来ないまま、人との繋がりでご入会を勧められ、今日に至っています。具体的な事業活動にはまだタッチしていませんが、良き先輩に巡り合



新美 建司
南尾張分区 半田南RC
職業 総合建築業
入会 平成10年6月2日
2000～2001年度 親睦・広報

え、多くの人と触れ合う事が出来る場所……としか今語れません。

森 私はこの地区最初の女性会員という事で入会しました。ロータリー活動を通じて色々な人とおつき合いが出来、又日本だけに限らず海外においても友達が出来ました。一方ロータリー活動に一生懸命になり、愛するが故に失望する事もあり、一昨年退会を決意しました。しかし友人が引っ張ってくれて留まりました。こんな経過を得て少し第三者的な目でロータリーを見る様になり、それが私の幅を広げてくれました。今はそんな場所です。



森 榮
西尾張分区 一宮中央RC
職業分類 小児歯科医
入会 平成2年10月31日
2000～2001年度 出席(副)

中 野 (昭) 知り合いは少なかったですが誘いに応じ入会させていただきました。ロータリーは色んな出会いの場であり、情報を得られる場である。しかし入会して8年近くなりますが奉仕団体であるのに奉仕しているという認識があまりなく、少し物足りなく感じています。



中 野 昭雄
東尾張分区 瀬戸北RC
職業 陶器人形製造
入会 平成6年8月30日
2000～2001年度新世代 (長)

菊 岡 名南クラブ創立の時に当時4名の女性会員と共に入会しました。当時は女性ということで色々な意味で風当



菊 岡 深智子
西名古屋分区 名古屋名南RC
職業 シニアアクティブ・ゴルフ場
入会 平成3年2月19日
2000～2001年度 出席

しい場所です。

中 野 (靖) 私は多分地区で7～8人目の女性会員であると思います。名北では80名位の会員の中で2名で大変大事にさせていただきました。職業柄、世の中の嵐を受けている中で「ロータリーは何と温かいところだ……」と感じ、4年位前にガバナー月信に「ロータリーパッチは神様がくれた勲章」であると書きました。この気持はあまり変わっていません。



中 野 靖子
東名古屋分区 名古屋名北RC
職業 地域誌出版
入会 平成5年6月16日
2000～2001年度米山記念奨学 (副)

真 智 父が30有余年のロータリアンでした。その父が愛したものが3つあり、その一つが母であり、次に医師会でありました。もう一つが最も愛した「ロータリー」でした。小さい頃からクリスマス会等の家族会に参加すると、家の中では



真 智 直子
東三河分区 田原RC
職業 眼科医
入会 平成10年9月4日
2000～2001年度親睦 (長)

怒っている父なのに、ロータリーではニコニコ楽しそうでした。失き父のあとロータリーに入会させて戴き、今父の愛したものを模索中です。

父があんなにソワソワしながら楽しそうに、うれしそうにして愛したロータリーを探しています。

中 根 ロータリー歴2年でまだ全く判りません。今日の座談会にと事務局から本を借りて読みましたが、よくわからず臨みました。

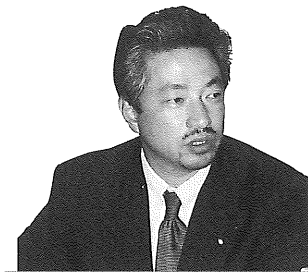


中 根 太
西三河中分区 豊田西RC
職業 プラスチック製造
入会 平成11年1月11日
2000～2001年度会報

ロータリーの入会動機は、多少無理やり人間関係で入りました。その時は限られた人生の中で、何か社会の為に貢献出来たらと淡い思いもありました。

鳥 山 私も父がロータリアンで、分区代理も努めました。

11年間の青年会議所を卒業し、先輩・友人から誘われて



鳥 山 欽示
西三河分区 西尾RC
職業 味噌製造
入会 平成11年1月
2000～2001年度親睦

入会しました。現在はNPO活動を通じて町づくりに携わっています。ロータリー活動については「例会」「奉仕」等についてまだ良く判りませんが、今の形でよいのか疑問です。しかし居心地はいいです。

司 会 入会の動機と「ロータリーとは？」を聞きました。止むを得ませんが多少ロータリーの本質から離れて入会されている方もみえます。ロータリーの本質を知るにはあえてライオンズとの違いを少し勉強して戴くと判ってきます。

それでは本日メインであるロータリーを斬るに入ります。岡目八目で結構ですので、こんなことはロータリーは止めてほしい、苦言・提言を2、3上げて下さい。

新 美 先日の地区協議会に出席して強く感じた事は、会員増強について大変命的でした。ロータリーは一業種一人での構築であるのに、同業者を細分化し職業分類をこじつけてまで会員増強するのは本来的なロータリーの本質とは相反するのではないかと思います。

森 一年一期制も良いが活動が分断されている。活動はその場限りで、十分な活動に対する討論・反省がない。「継続は力なり」まで行かなくても総括がないので過去の経験があまり生かされていない。



中 野 私はロータリーは奉仕団体と思っていましたのでニコボックスの浄財が恵まれないところへ配分されると思っていました。ところが実際は、クラブの周年行事、クラブ運営で足りない分へ充当されている事に少し幻滅しました。「超我の奉仕」の崇高な理想からはやや離れているのではないかと思います。居心地は良く8年目を迎えますが「奉仕の理想」の姿がまだイメージ出来ません。

司 会 「超我の奉仕」という言葉が出てきましたので、ちょっとコメントしますが、難解な言い方で「相手の立場をよく理解し、相手の身になって自分の真心を尽す」即ち奉仕とは「思う心」と「行動」があります。相手の事を思うだけでは「奉仕」にはなりません。ただの「思いやり」です。もっともっと深く思うのは「愛情」です。即ち「愛」です。とにかく「奉仕」とは 思って行動を起こさねばなりません。「超我」とは自分の事を顧みないで、相手の立場をよく理解して、自分の利益とは考えない。「超我」とは通常の奉仕の上に強い強い奉仕と思って下さい。もっともっと相手を思いやってと理解して下さい。

菊 岡 先程申し上げました様に、10年経ってやっと今言われている様な「ロータリー」の事が解りつつあるのが実感です。「奉仕」というものは「今日やる」「明日やる」というものではなく、長いスパンの中で小さな事でもこつこつやる事だと思います。今迄色々な委員会に配属されましたが楽しかったのは「国際奉仕」です。この委員会に所属した時に「ハワイ・ホノルルサンセットRC」と姉妹提携にこぎつけた事です。上村さんが言われた様に具体的な行動出来た事です。ロータリーでの大きな喜びの一つです。それから「メーキャップ」について、サインだけで良いのでしょうか？ぞろぞろ並んで待っている姿が異様に映ります。

中 野（靖） 私は3年前に米山奨学生のカウンセラーを引き受けました。今迄は男性ばかりでしたが、女性の留学生という事で私に廻ってきました。困った事は、彼女が年度内に卒業して、4月から大学院に進学したいと申し出があり、大学院の試験を受けたところ

合格しました。しかし「米山奨学生」についてロータリーは一年間支援するという制度であり、1年が終ると打ち切りになります。私は彼女の進学の思いとの板挟みになり、苦慮しました。何んとか地区でも考えていただき、せめて博士号がとれる迄見守ってほしいです。一度に沢山与えなくて、「少し愛して長く愛して…」の言葉がありましたが制度として考えてほしいと思いました。

真 智 40周年を迎える田原RCですが、実働部隊は3～5年生です。実際に委員会構成ではもう少し「老・壮・青」で成り立ち、委員会を通じての楽しさとお教えも得る構成が望ましく思います。又「IT時代」ですが、今日の様にお互いに生の声で討論出来、上村先生に示唆の多いお話を聞きますと、いかにまだまだ頭の中だけと痛感した。

司 会 私共のクラブではむしろ若い人ばかりでやると年配からおしかりを受けます。又事業年度毎に必ず新しい事を委員会に要請します。踏襲のみでは駄目で、オリジナルな物を出せという伝統があります。参考にして下さい。

中 根 入会間もなくして苦言を申し上げるのは、はばかりですが、あえて申し上げますと例会の姿です。ロータリーの関係者でないと何をやっているのかよく判らない。ただの食事会としか思えない場合も多々ある様に思います。又メーキャップについても、おこがましいですが、サインのみで「出席」の意味に「魂」が入っていない。

鳥 山 生意気な言い方ですが、例会で啓蒙されるものがない。極端な言い方ですが友人と話すだけの全くのサロンになっていたり空しさを感じる時があります。もう少し触発される事を期待していました。

司 会 先ず一番大切な事は、例会の卓話を充実させることです。私は例会の翌日に従業員にも、卓話の内容を話します。こうする事によってロータリーの意義を感じてもらっている。

最後のテーマになりますが、ロータリーとしてやってほしいこと・やってみたいことをたずねます。



新 美 率直に言ってライオンズとの違いが、よく判りません。J Cの活動の様に地域密着型とっていました。奉仕活動の味がはっきりしていない様に思われます。

森 奉仕活動をもっと多くすることによって、地域社会から共感を得やすいのではないかと？特に青少年についての活動などは。話は変わりますが、出席に余りこだわらなくても良いのでは？

中 野(昭) もう少し判りやすく、目に見える社会奉仕が出来ないでしょうか？ロータリーのPRのみが先行する様な気がします。



菊 岡 不連続の連続ですが、時流にあったものを地区内で検討してほしい。特に全体でやれば大きな力になるのではないかと思います。それから「ロータリー会館」といったものが出来ると、もっともっと気軽に相談が出来ると思います。

中 野(靖) 会員増強が叫ばれていますが、「ロータリーはどのような所？」と聞かれて、返答に苦慮しました。一般の人に判る様な「やさしい説明」が欲しい。こういうところで活動したいと思う様に公共的なイメージを高めて欲しい。

真 智 40周年の記念行事が終わったばかりで、余計に印象的かもしれませんが、行事のたびに食事が余っているのを目の当りにして、お金の使い方に疑問を待たずにいられません。もう一つ、IT時代に急速に入って行きますので、クラブの様子をインターネットでアピールし合い情報交換したい。

中 根 豊田市内に5クラブがありますが、各クラブ4名ずつ委員に出席頂き、月1回集って合同プロジェクトを考えています。バラバラで各クラブが行動するよりは効果的でよいと思います。

鳥 山 自分の職業を通じて、職業ボランティアを造るといふ企業の特色を生かした活動の場を提供することによって専門性を生かし、社会貢献をしている実感が湧くと思います。これが又会員増強の時のプレゼンテーションになると思います。

司 会 盛り沢山の要望や願望を述べられ、若い会員の皆さんの想いが伝わると思いますが、最後に言いそびれた事や、これだけは言っておきたいと思われる事を一言ずつどうぞ！

新 美 ロータリーだけで歯車が空廻りしない様に、他の色々な団体とリンクする様お互いに努力したい。

森 自分のクラブ内だけでなく、もっと集まる場所を提供して戴き、意見交換や活動の場所として活用したい。

中 野(昭) まだまだ自分の言っている事がロータリーの中で本当に意味が通じているのか判りません。今日の様な機会を多くして戴き、こういう場所を歓迎します。

菊 岡 先程も申し上げましたが、意見交換がフランクに出来る「ロータリー会館」の設立を是非願いたい。

中 野(靖) 私も何度も申し上げましたが、奨学会制度を複数年に渡って出来る様、地区の役員方もフレキシブルに！

真 智 IT時代でインターネットを通じて…と言いますが、今日皆さんにお会いしてロータリーの良さが少し判ってきました。こういう機会を多くして下さい。

中 根 私も真智さんと同じで、こういう機会に恵まれ大変勉強になりました。そしてこういう機会をもっともっと多くして下さい。

鳥 山 ロータリーを全般に考えると良い事とは判りますが、上意下達というか、命令的はよくないと思います。各クラブが特性を出し合い、その中で称え合う事によって活性化出来ると思います。

上 村 活発でユニークな意見、ありがとうございました。限られた時間の中での皆様の御意見参考にさせていただきます。本日は地区幹事の伊藤さんもお出席戴いていますので、是非、導入出来ます事は地区でも御検討下さいませ。

最後になりましたが、地区大会でもお話しした様に

- ・ロータリーはクラブが主体です
- ・画一的でなく、クラブの個性・自主性を尊重します。是非クラブの個性を強く出して下さい。
- ・質を無視しての増強は反対です。むしろクラブの合併も良しと考えて下さい。

変革の時代です。クラブの先例にとらわれず、良いと思った事はどんどん取り入れて下さい。

今日は私も勉強になりました。ありがとうございました。これで座談会を閉じます。



進行 地区幹事 伊藤 鶴吉

地球環境における森林の役割

田原RC 山田年清

現在私たち日本人は、 社会で起こる出来事をワイドショー的、週刊誌のフォーカス的感点で、ちゃかしおもしろおかしく社会をとらえているようです。地球環境問題についても同じで、世界のリーダーや学者達も地球環境の破壊が危機的状況であるのに、地球温暖化の議論になると空気中の二酸化炭素の削減の話だけになる。オゾン層の議論になると、フロンガスの削減の話だけになる。あたかも二酸化炭素とフロンガスを削減すれば、地球環境は改善され幸せな世界が来るように伝わってくる。

70年代も後半に入って、 人工衛星による地表探査や援助に伴う現地調査などが進み、地球環境の情報が集まるにつれて、破局的な自然破壊が発展途上国で広く深く進行している実態が次第に明らかになってきた。急激な緑の破壊とともに生態系が寸断され、水や他の物質をたゆまず循環させ大地を安定される自然の機能が、各地で崩壊していたのだ。

21世紀に入って、 ついに60億人を突破した世界人口の重みは、その4分の3を占める発展途上国に大きいのしかかっている。アフリカ、インド亜大陸、東南アジア、中南米では、局地的に過重な人口を養うために耕地を無理に拡大し、あるいは酷使し、遊牧地の許容頭数以上の家畜を飼う結果、想像をはるかに上回る速度で自然環境が悪化している。最終的には、土地が荒廃して、飢餓や災害規模の拡大という形で地域住民にはね返ってくる。

同時に、汚染物質の測定技術や観測網の進展に伴って、人工物質による科学汚染や重金属汚染は、地球のすみずみにまで及んでいることが暴き出された。先進国が、豊かで便利な生活を維持するために浪費した資源、氾濫させた合成物質が、汚染物質に姿を変えてあふれ出してきたのだ。今や北極のシロクマでさえ高濃度のPCBで汚染され、南極のペンギンからもDDTが検出される。汚染源とは無縁の辺地に住む人々でさえ、本来のレベルをはるかに超えた水銀、鉛、カドミウムなどの重金属や放射性物質を体内に蓄積している。

欧州や北米から世界に広がり始めた森林の大量枯死は、大気中に放出された汚染物質が酸性雨となって降り注いでいるのが主な原因であり、ガンやアレルギーの患者などが不気味に増えているのも「地球汚染」が大きく影を落としている。

自然破壊と環境汚染という 二重の責め苦

にあつて、地球はこれまで考えもしなかった気象破壊へと進み始めた。すでに地域的な雨量の激減などの局地気象の異常は、各地で表面化している。

広域自然破壊も、地球汚染も、これだけ加速してきたのは、せいぜい過去40年ほどのことに過ぎない。 人類の400万年の歴史で、一瞬にも満たないこの一世代の間に、自分たちの生息環境を危機的状況まで悪化させてしまったのである。

ここで世界各地で今、何が起こっているかを紹介いたします。

ブラジルというと、 アマゾンをはじめとする広大な未開地を連想する。だが、そのアマゾンの東隣のノルデステ（東北地方）に足を踏み入れた人は、ここがブラジルとは信じられないに違いない。緑と名のつくものは地上からかき消え、干からびた大地からもうもうと砂煙が舞い上がる。世界最大のジャングルの隣は、中国のコビに匹敵する大砂漠である。景色はメキシコの砂漠に行くのと変わらない。赤褐色の裸地の所々にサボテンなどの多肉植物がへばりつくだけだ。ブラジル国土の18%占めるこの一帯はセルトン（奥地）と呼ばれる。だがこの一帯は「飢えの三角地帯」「干ばつと暴動の地」といった形容詞つきで語られることが多い。毎年のように干ばつに見舞われ餓死、暴動、犯罪などの多発するブラジルの貧困地帯だからだ。東北地方のアルデステに住む約3,000万人のうち3分の1はフラゲドス（打ちのめされた人々の意味）と呼ばれる極貧層である。それでもなお同地方の人口は年間100万人ずつ増えている。

干ばつの常襲地帯、エチオピア北部のウォロ州西部は、3,000メートルを超える山地がゆるやかに起伏を描いている。40年前までは、うっそうと木が茂っていたというが、山肌には文字通り一本の木も見当たらない。干ばつのたびに農民は家畜や家財を売って何もなくなったあと、木を切っては薪や炭にして現金に換えたからだ。

エチオピア各地を回っていると、 強制移住に踏み切りざるを得ない状況も理解はできる。エチオピアは高地にあるために気候が温暖で水にも恵まれ、かつて国土の半分以上は森林で覆われていた。それが、1960年の調査で16%を割り、86年の推定では2.5%も残っていない。毎年20万ヘクタール、つまり東京都とほぼ同じ面積の森林が消えているのだ。世界でも最も急激に森林を喪失した国である。最大の理由は、1987年には4,500万人を突破、二十数年ごとに倍増してきた人口である。家畜も人間の増

加と正比例して増えていく。

1986年夏、10年ぶりにタイの北東部を訪れて、ここが同じ場所だろうかとなかなか信じられなかった。カンボジアに近いアランヤプラテートは、当時すでに難民が殺到して森林が消え始めていた。うっそうと茂っていた熱帯林は今やまったく姿を消して、難民収容のテントやブリキ板をたたき付けた急造の小屋が並んでいるだけの原野になっていた。押し寄せた難民が、薪や小屋がけの木材として伐り尽くしたのだった。タイ語で「森の国」を意味するアランヤプラテートは、地名にその名を残すだけとなってしまった。

北東部を占めるコラート高原は、暗いまでに濃緑色のジャングルが広がっていたのが、一面の水田に変わっていた。水田の中にわずかに残された木々が、かつての熱帯林の名残りであろう。同行のタイ王室林野局の専門家は「人口爆発で急速に開墾が進みこんな山地まで水田がはい上がってきた」という。1965年以後の20年間に、水田は4倍にもなった。水田の中に残された木も薪や炭にされて次第に少なくなっている。

国連食糧農業機関(FAO)によると、

地球上の森林(1995年時点で34億4,000万ヘクタール)は90年からの5年間で、熱帯雨林を始めとして5,630万ヘクタール減った。年平均で日本の面積の30%にあたる1,130万ヘクタールの森林が消えていることになる。特に途上国の熱帯地域で森林の減少や劣化が著しく、同地域には生物種の50~80%が生息するだけに、生物多様性の保全が危ぶまれる。

以上、地球環境報告から抜粋して紹介をいたしました。現在地球環境は危機的状態を通りすぎ危機状態であることを認識されたことと思います。

世界中の森林が消えている現状を報告して参りましたが、森林が急激に減少すると地球環境にどういう形で影響するのか、森林の働きを化学的にお話を申し上げて、人類の宝である森林の大切さを認識頂けましたら幸いです。

それでは、**森林の役割について**、今回は、地球温暖化とオゾン層の二点にしばって申し上げたいと思います。

地球温暖化はなぜ起きているのか考えてみたいと思います。それは急激な森林の伐採によって赤い土が大量にむき出しになり、日射にさらされている事が最大の原因と思われます。光の性質は色に大変関係があります。黒色はすべての光を吸収します。白色はすべての光を反射します。そして必要な光はその色をあてがえば吸収することができます。たとえば植物が光合成をするのに緑色が必要であれば緑色の葉を日射に示せば吸収することが出来ます。私たちの地球は酸化鉄を多く含んだ赤い土で表面が出来ています。赤い色は赤外線を吸収して熱を発生させます。砂漠では昼間の日射されている時、50度前後まで気温が上昇するそうです。

緑色は赤外線を反射してしまいます。地球温暖化を防止するには森林を保護し、育成して世界中緑のジュタンにするしか方法がないと思います。

次に **オゾン層の破壊がなぜ起きているか**を考えてみたいと思います。植物は光合成を行なって、デンプンを作り、成長をします。

光合成反応は $6\text{CO}_2 + 6\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2$

となります。

すなわち空気中の二酸化炭素と地中から吸い上げた水と太陽光と反応してデンプンと酸素を作ります。光合成によって作られた酸素は空気中で水素と結合して水蒸気(水)を作ります。すなわち、地中の水を吸い上げ浄化しながら水を作っているのです。出来た水蒸気は大変軽いので山の斜面を使ったりして上空へ上がって行きます。上昇気流や月の引力などで上空10キロ以上の所まで到達すると水蒸気は分解して酸素と水素に分解をします。分解した酸素はオゾンに変化して、オゾン層にオゾンが供給されるのであります。また分解した水素は軽いので50キロメートル上空まで到達して電離層に水素が供給されるのであります。(電離層は水素でできている。)

森林による光合成は、水を循環させる役割もしております。森林の周りの大量の二酸化炭素(気体)がデンプン(固体)に変化する時、大気密度が薄くなります。すなわち気圧が低下し低気圧が発生します。すると上空からと廻りから空気が入り込んで来ます。水蒸気が圧縮され過飽和になると雨となって地上に落ちてきます。たとえば、濡れぞうきんを手で絞って水がしたたり落ちるようなものです。砂漠に雨が降らないのはこのためです。

まとめてみますと、森林は、水を浄化しながら水を作り、水を循環させ、オゾン層を形成しているわけでありまして、その森林が急激に減少している結果、オゾン層が破壊され、オゾンホールが出来てくると思われるのであります。

最後に、地球環境の悪化の防止に私たちロータリークラブが出来る事は何かを考えてみたい。私は急激な人口の増加と家畜の増加が森林の減少の最大の原因だと思います。人間は飢餓状態または空腹の状態が続くあきくせくする時間がなくなると本能的にすること、楽しみはセックスしかなくなるのではないかと思います。発展途上国において、まして難民においては、避妊の習慣はなく、子供が出来てしまふと思います。そこで、私たちロータリークラブは組織全体の力を結集して難民キャンプ、スラム化した地域、発展途上国に避妊具を10年くらい送り続け使用してもらうことだと思ひます。それから森林の大切さを認識して行動を起こすことだと思ひます。

この地球に、私たちの子孫は、何百万年、何千万年も生き続けなければなりません。21世紀に、私たちは、子孫のためにも、地球環境の改善に森林の保護、育成に、一刻も早く取り組み、地球的な論議が始まることを切望したい。



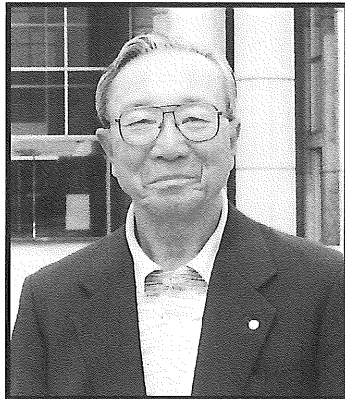
高沢 隆パストガバナーを偲ぶ



去る3月30日、心不全の為亡くなられた故高沢隆パストガバナーに対し地区協議会の冒頭、参加ロータリアンは黙祷を捧げ哀悼の意を表しました。

76年に亘るご生涯の中で高沢さんは家業の海産物加工販売株式会社ヤマヒコの発展に尽力されると共に愛知県教育委員会委員長をはじめ豊橋商工会議所常議員、豊橋青年会議所理事長、豊橋市民愛市憲章推進協議会会長、豊橋文化協会会長等幾多の要職を歴任され地域の文化、経済、社会、教育方面に多大な貢献をされました。

ロータリーには1958年3月13日、豊橋クラブへ入会され、ロータリー活動43年間でクラブ会長、幹事、各種委員長等を務められ、あらゆる部門に精通されていました。初代会長故神野太郎パストガバナーの薫陶を受け、森泰樹パストガバナーの地区幹事、そして1988～89年には地区ガバナーとしてロータリアンの指導に当たられました。ガバナー在任中にはクラブ拡大に力を注ぎ、豊橋ゴールデン・岡崎城南両クラブを誕生させた他、インターアクトクラブの海外派遣再開、WC Sフィリピン訪問等精力的に活動



されました。

豊橋ロータリークラブ50年の歴史をたどる時、豊橋クラブは2度の地区大会、地区協議会、一日講習会、I G F等あらゆる地区行事のホストを務めました。その度に全員が手作りで汗を流す事を率先垂範されました。

イベントをやる事がクラブの活性化につながると言うのが高沢さんの口癖でした。ゾーンに於けるロータリー研究会豊橋開催は国際ロータリーの役員を迎え初めての経験でしたが高沢実行委員長のもとで立派に成果を挙げ豊橋クラブの存在を内外に印象付けました。お陰様で色々な行事を通じ私達は啓発され、人生道場自己研修の場として貴重な経験を重ね、ロータリーを学ぶ事が出来ました。ロータリーの良き伝統を伝えるかけがえのない師としての高沢さんを喪った事はクラブのみならず地区にとっても大なる痛手であります。私共はその教えを守り、一層奉仕活動に励むと共にハリストス正教会の下で聖名ワシリスク高沢隆さんの魂が神のみ元で安息の場を与えられる事を心から祈りたいと思います。

(パストガバナー 石川和昌)

弔辞

本日ここに、故高沢隆パストガバナーの御霊へ国際ロータリー第2760地区を代表して、惜別の言葉を捧げます。

高沢さん、卒然と逝かれたあなたにお別れを申し上げます。ばなりません。

あなたは3月30日、第五回地区諮問委員会の朝、永遠の国に旅立たれました。

先般、東三河分区分会インターシティミーティングの折にご挨拶しました石黒功三様からお便りをいただき、17日の豊橋ハリストス正教会の祈禱会でお目にかかれた高沢様の奥様からのお話では、大分快復に向われているとのことでしたので、委員会開始直前に、石川パストガバナーよりお聞きしたときはまさかと我が耳を疑いました。でも現実であると悟り、同時に、瞬時に、高沢さんとの数多くのよい思い出が脳裏をよぎりました。

あなたは、1958年に豊橋ロータリークラブに入会され、1974～1975年度に会長を、1977～1978年度には森ガバナーを助け地区幹事をおつとめになられました。そして、1988～1989年度には33代ガバナーとしてまことに素晴らしいリーダーシップを発揮して下さいました。ロータリーに活力を—あなたの活力を、のR I テーマは、ご自身のお考えと完全に符合し、各クラブに対し、1. クラブ活動に全員の参加を、2. クラブ例会のマンネリ化打破を、の二点を特に力強く要請されました。ロータリーの原点は、会員ひとりひとりが活動することにあるのご主張は、まさに、古くてまた新しいテーマであり続けると考えます。

さらに、適正な会員数のクラブにこそ活力は生ずるとされ、拡大による会員増強をはかられました。そして豊橋ゴールデンロータリークラブ、岡崎城南ロータリークラブの誕生に立ち会われると共に、名古屋、豊田、一宮、田原等へ働きかけられ、次の盛田ガバナーへ拡大のバトンをお渡しになられました。そして、自分のことだけでなく、他人に対する思いやりの精神、これがロータリーの目標、即ち超我の奉仕の哲学であるとシンブルにとらえては、とお説き下さいました。

私は高沢さんに特別の敬愛の念をいだいて参りました。

森先生のもとで分区分代理をつとめました叔父は、高沢さんとは同年度の地区幹事と分区分代理の間柄で、平成二年に他界するまで格別に親しくしていただいております。お陰で私にも特別に目をおかけ下さり、石川年度に分区分代理をつとめておりました年のインターシティミーティングでは遠路犬山までお越し下さり、基調講演をしていただきました。

講演の中でお話になられた、『例会の場は、一週間の航海を

国際ロータリー第2760地区ガバナー 福田清成

終えて入ってくる港のようなもの』とのたとえば、ポール・ハリスのインタビュービデオと共に印象に残っております。『そこではいい、安らぎ、そして次なる一週間への気力を充填するのだ』と。

ガバナーノミニーにご推薦いただいて間もなく、ご挨拶を兼ねてメーキャップに伺った豊橋ロータリークラブの例会は本当にそのような雰囲気を感じました。また、そのとき、我が事のように私のことを喜んで下さっていたお姿は今も忘れられません。

高沢さん、本当によくご指導下さいました。お世話になりました。有難うございました。20世紀から21世紀への遷移を果たした今、ロータリーは大きく揺れています。奉仕の量は質は、むなしいことをしてはいないか、ロータリーの存在価値はどうか、社会の評価は、ロータリアン自身の評価は、新陳代謝は順調か。数々の課題を前にもっとお教えを受けたかったと痛感いたしました。しかし高沢さんは私達が単に悩んでいる事は喜ばれません。きっと進んで行動をとっておっしゃられる筈です。

ロータリーの心は究極のところ、心と心のふれあいであり、他人に対する思いやりであり、友情であるとお言葉を大切に胸に刻み、前進して参りたいと存じます。どうぞ天のみ国に安らげあつて下さい。そしてロータリーを暖かくお見守りください。もう一度有難うございました。さようなら。

平成13年4月2日



ご入会おめでとうございます

分 区	ク ラ ブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
西 尾 張	あ ま	紫関 雅美	1951. 9. 20	(株)中村電機商会	電気部品販売
	名古屋空港	増田 勝	1947. 6. 20	(株)マスタ翠花園	生花配布
東 尾 張	//	橋本 寿夫	1954. 12. 30	三友電子(株)	電気通信工事業
	瀬 戸 北	須崎 侑三	1947. 8. 30	品野台造園(株)	造園業
	名 古 屋	工藤 尚武	1941. 5. 5	名古屋商工会議所	商工会議所
西名古屋	//	村本 邦夫	1949. 10. 25	サッポロビール(株) (名古屋)	ビール販売
	名古屋東南	福永 哲也	1932. 11. 9	(株)三交クリエイティブ・ライフ	ハンズ事業
	//	市川 顕	1943. 8. 7	総合警備保障(株) (愛知)	警備請負
	//	斎藤 養	1947. 11. 23	(株)三省堂書店 (名古屋高島屋)	書籍販売
西三河中	岡 崎 東	竹内 詔一	1945. 9. 10	エフティー土地	不動産売買業
	豊 田 中	須藤 淳	1967. 8. 26	須藤建設工業(株)	土木建設業
	刈 谷	藤原 正敏	1954. 2. 24	(株)東海銀行 (刈谷)	商業銀行
西 三 河	//	市川 裕大	1956. 8. 23	(株)市川呉服店	衣料品販売
	//	神野 公秀	1960. 6. 20	(株)千早苑	中華料理店
	//	杉浦 文雄	1955. 4. 28	(株)スポーツマネージメント	イベント業
	安 城	松岡 達文	1957. 12. 2	(株)東海銀行 (安城)	商業銀行
	碧 南	斎藤 健	1953. 7. 29	(株)東海銀行 (碧南)	商業銀行

文 庫 通 信 163号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

一度は読んでみたい本(3)

- ◎「ロータリークラブに就て」坂田幹太 1927 14頁 [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「素顔のロータリー」三宅徳三郎 高松R.C. 1984 92頁 [申込先：高松R.C. FAX(087)826-2300]
- ◎「ロータリーの本」森 光繁 今治R.C. 1978 126頁 [申込先：今治R.C. FAX(0898)22-3952]
- ◎「ロータリーという職業奉仕」神守源一郎 D.358 1972 57頁 [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーの実践」絹川 清 関西ロータリー研究会 1972 68頁 [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「これがロータリー ロータリー副読本」小中義美 和歌山R.C. 1981 120頁 [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「おゝロータリアン ロータリーとは」金沢北R.C.編 1977 151頁 [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリアン 福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」蒲原 権編 有田R.C. 1986 102頁 [申込先：有田R.C. FAX(0955)43-3120]
- ◎「ロータリー余話」津田 進 1994 106頁 [申込先：ロータリー文庫]
- ◎「ロータリー夜話・茶話《抜粋編》」津田 進 1994 141頁 [申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

新ポール・ハリス・フェロー 3・4月分

川田美代子様 (名古屋東南)	高山 萬三様 (西春日井)	大道 洋子様 (一宮中央)
大島 秀一様 (一宮中央)	坂田 義一様 (一宮中央)	山田 正平様 (一宮中央)
津田 節哉様 (名古屋)	稲垣 一誠様 (一色)	村瀬 秀和様 (東海)
森田 定様 (豊橋北)	宇都木 寧様 (名古屋北)	長田 銑司様 (碧南)
松本 圭一様 (名古屋)	矢野 隆様 (知多)	久野 章様 (東海)
片桐 寛治様 (名古屋和合)	木村 守雄様 (渥美)	鈴木 稔様 (一宮)
一柳 伸様 (名古屋西)	加藤 正和様 (名古屋西)	

2000～2001年度 第2760地区 書き損じハガキ集計表

〈地区社会奉仕委員会〉

南尾張分区	594枚
西尾張分区	1015枚
東尾張分区	937枚
西名古屋分区	1700枚
東名古屋分区	1203枚
東三河分区	1099枚
西三河中分区	662枚
西三河分区	2253枚

合 計 9463枚

国際ロータリー第2760地区では書き損じはがき9,463枚を回収して社団法人日本ユネスコ協会連盟へ送付しました。地区内各クラブのご協力に感謝してご報告します。(地区幹事)

感謝状

2000年～2001年度
国際ロータリー第2760地区
ガバナー 福田 清成 殿

このたびは「ユネスコ・世界寺子屋運動」に多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。私どもは皆様とともに識字教育を通じてお互いの理解を深めつつ平和な地球社会を築くために努力してまいりたいと思います。現地で活動を進めている各国の友人とともに心より感謝申し上げます。

2000年4月吉日
社団法人日本ユネスコ協会連盟
会長 児島 仁

文庫通信 164号

一度は読んでみたい本(4)

- ◎「ロータリーの綱領」 R.I. 1968 7頁
- ◎「ロータリーの綱領の変遷と『奉仕の理想』」 先名正四 川崎R.C. 会報：1989 4頁
- ◎「世界社会奉仕を考える」 斎木亀治郎 D.368 1971 50頁
- ◎「決議23-34(セントルイス宣言)成立の経緯」 佐藤千寿 D.258 1985 24頁
- ◎「決議23-34についてのR.I. 理事会報告」 蔵並定男 D.2680 月信：1991 3頁
- ◎「ロータリーを考える 附：ロータリーの定義 他2点」 長瀬富郎 友：1972 7頁
- ◎「“心の温かさ”こそロータリーの推進力」 松本兼二郎 友：1973 4頁
- ◎「ロータリーの70年を支えたもの」 向笠広次・塚本義隆・松本兼二郎・神守源一郎 他4人 友：1975 5頁
- ◎「ポール・ハリスの願い」 田宮 佐・内藤卯三郎・佐久間長吉郎 他3人 友：1976 4頁
- ◎「ロータリー理念の源流とその展開」 濱川金兵衛 D.267 月信：1986 4頁
- ◎「これがロータリーだ」 直木太一郎(附：末積正註)
「わたしのロータリー50年」：1983 41頁
- ◎「ロータリーを若がえらせる、その根は職業奉仕だ」 直木太一郎(聞き手…平島健次郎)
「わたしのロータリー50年」：1983 8頁 [上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

特別寄付報告

2001年3月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

クラブ名称	クラブ記入金額	個人記入金額	法人記入金額	合 計	件 数
あ ま	0	300,000	0	300,000	1件
春 日 井	0	100,000	0	100,000	1件
名 古 屋	0	0	30,000	30,000	1件
名 古 屋 北	0	510,000	0	510,000	4件
名 古 屋 名 北	500,000	0	0	500,000	1件
名 古 屋 南	900,000	0	0	900,000	2件
名 古 屋 西 南	0	200,000	0	200,000	2件
名 古 屋 東 南	0	300,000	0	300,000	1件
岡 崎	0	30,000	0	30,000	3件
岡 崎 南	0	10,000	0	10,000	1件
瀬 戸 北	0	300,000	0	300,000	1件
豊 橋	0	10,000	0	10,000	1件
豊 橋 北	8,000	0	0	8,000	1件
豊 山 城 北	300,000	0	0	300,000	1件
地 区 合 計	1,708,000	1,760,000	30,000	3,498,000	21件

◆ 計 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

伊藤 泰弘様	名古屋西ロータリークラブ	平成13年 3 月12日
高沢 隆様	豊橋ロータリークラブ	平成13年 3 月30日
加藤 政男様	安城ロータリークラブ	平成13年 4 月 7 日
浦野 勉様	名古屋西ロータリークラブ	平成13年 4 月21日
石井健一郎様	名古屋ロータリークラブ	平成13年 4 月29日

●●●●● 地区内関係事務所の御案内 ●●●●●

ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112 江南商工会館内
TEL0587(52)5200 FAX0587(52)5252
E-mail: governor00-01@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

〒444-0059
岡崎市康生通西3-16 康生ビル406
TEL0564(65)5552 FAX0564(65)5553
E-mail: governor01-02@rotary2760.org

地区大会実行委員会事務局

〒447-8501
碧南市音羽町1丁目1番地 碧南商工会議所内
TEL0566(43)4788 FAX0566(43)4787
E-mail: hekirodo@katch.ne.jp

地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-12-5 竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL052(541)2760 FAX052(541)0500
E-mail: office@rotary2760.org
<http://www.rotary2760.org>



会員数および出席報告



第2760地区

平成13年3月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
南尾張分区	半 田	99.32	5	73	68	-5	0
	常 滑	97.74	5	72	71	-1	0
	東 海	94.81	4	48	53	5	1
	東 知 多	93.13	5	65	66	1	0
	半 田 南	97.70	3	65	63	-2	0
	知 多	96.78	4	41	42	1	0
	6RC	96.58	26	364	363	-1	1
西尾張分区	一 宮	98.01	5	85	80	-5	0
	津 島	98.75	5	77	82	5	0
	尾 西	97.76	4	59	56	-3	0
	一 宮 北	95.39	5	72	73	1	1
	稲 沢	100	4	62	64	2	0
	あ ま	99.64	3	94	96	2	0
	西 春 日 井	91.25	3	60	59	-1	2
	尾 張 中 央	98.90	4	54	55	1	0
	一 宮 中 央	95.29	4	70	70	0	5
	9RC	97.22	37	633	635	2	8
東尾張分区	瀬 戸	100	4	84	86	2	0
	犬 山	100	3	83	85	2	0
	江 南	100	5	73	76	3	0
	小 牧	98.80	4	74	71	-3	0
	春 日 井	98.59	5	82	84	2	3
	尾 張 旭	98.95	5	59	56	-3	0
	名古屋空港	94.93	4	58	59	1	0
	瀬 戸 北	100	3	71	73	2	0
	岩 倉	98.09	3	36	36	0	0
	豊山一城北	94.59	3	44	44	0	2
	10RC	98.40	39	664	670	6	5
西名古屋分区	名 古 屋	95.70	3	215	221	6	0
	名 古 屋 西	95.76	4	140	139	-1	0
	名 古 屋 南	99.20	4	120	125	5	0
	名古屋みなと	100	4	118	118	0	0
	名古屋東南	96.89	4	79	82	3	4
	名 古 屋 中	99.20	4	153	155	2	0
	名古屋瑞穂	99.04	5	97	95	-2	0
	名古屋大須	98.69	5	92	81	-11	0
	名 古 屋 栄	98.01	3	85	84	-1	0
	名古屋名駅	98.45	4	111	116	5	1
	名古屋名南	97.19	3	90	89	-1	17
	名古屋西南	96.06	5	60	58	-2	8
	12RC	97.85	48	1,360	1,363	3	30

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
東名古屋分区	名 古 屋 北	97.91	5	111	110	-1	0
	名 古 屋 東	96.68	4	105	102	-3	0
	名古屋守山	93.91	4	79	77	-2	5
	名古屋和合	99.78	4	108	111	3	0
	名古屋名東	100	1	82	79	-3	8
	名古屋名北	100	4	67	68	1	6
	名古屋千種	100	3	70	69	-1	5
	名古屋昭和	100	3	74	76	2	0
	名 古 屋 錦	97.87	3	57	52	-5	12
	名古屋東山	98.48	5	61	66	5	0
	10RC	98.46	36	814	810	-4	36
東三河分区	豊 橋	99.11	5	130	127	-3	4
	蒲 郡	96.25	5	74	72	-2	0
	豊 橋 北	98.61	3	110	109	-1	2
	豊 川	96.80	4	77	78	1	0
	田 原	96.12	5	70	73	3	1
	豊 橋 南	99.44	3	66	69	3	0
	新 城	92.48	5	69	67	-2	0
	渥 美	93.77	4	61	59	-2	0
	奥 三 河	93.00	3	37	35	-2	2
	豊川宝飯	98.81	3	64	63	-1	0
西三河中分区	豊橋ゴールデン	98.57	5	76	72	-4	0
	田原パシフィック	98.15	3	72	75	3	0
	豊 橋 東	100	4	50	51	1	0
	13RC	97.01	52	956	950	-6	9
西三河分区	岡 崎	99.25	4	107	112	5	1
	豊 田	99.71	5	84	91	7	0
	岡 崎 南	99.55	5	108	111	3	3
	豊 田 西	100	4	102	100	-2	0
	岡 崎 東	97.86	5	97	101	4	0
	豊 田 東	97.77	4	95	94	-1	0
	岡 崎 城 南	98.61	3	74	72	-2	0
	豊 田 三 好	96.00	4	30	29	-1	2
	豊 田 中	100	5	53	54	1	4
	9RC	98.75	39	750	764	14	10
西三河分区	刈 谷	100	3	99	104	5	0
	安 城	93.74	5	73	71	-2	0
	西 尾	100	3	78	80	2	1
	碧 南	100	4	78	82	4	0
	一 色	99.18	5	50	49	-1	0
	高 浜	99.30	3	50	52	2	3
	知 立	100	4	60	64	4	0
	西尾KIRARA	100	5	67	69	2	0
	三 河 安 城	96.05	4	42	43	1	1
	9RC	98.70	36	597	614	17	5

地域内クラブ数 78RC	2000.7.1会員数	6,138名	増 加 会 員 数(累計)	287名
	当 月 末 会 員 数	6,169名(内女性104名)	減 少 会 員 数(累計)	256名
	当 月 平 均 出 席 率	97.87%	差引純増会員数(累計)	31名

表紙に寄せて

●書家・画家プロフィール

書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日記連続出品
白日記／文部大臣賞／
現在白日記会員

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。